

TOKYO

# 車中ウォッチング



のぞき見 これこれ・・・

作者 MEME



この本は、東京を走る電車の中の楽しい人間模様を書き留めたものです。

---



東京を走る電車の中で退屈な時間を過ごしている間にも、気が付けば、微笑ましくも楽しい会話や人間らしい行動などを見聞き出来ます。

つい見逃してしまいそうな、そんなエピソードの切れ端を拾ってみました。

私が絵（デッサン・クロッキー）を20年間勉強し続けていることも有り、ふとした仕草や服装などを頭にクロッキーして記憶し、後で帰宅後に思い出して描いています。

絵が思わぬところで役立って、描き続けてきて良かったな・・・と思います。

どうぞ、私と一緒に、車中の人々を絵と共にウォッチングしてみませんか・・・？

---



(たんとんと・・・)

---

たんとんと・・・

★-----★

六本木に向かう電車の中で、例によって「優先席」に陣取った私。

とある駅で隣の方が席を立て降りられた。

そして、入れ替わりに泳ぐように真っ先に大急ぎで

乗り込んできた80過ぎとおぼしきおじいちゃん。

両肘を「く」の字に広げて幅を確保しながら飛び込んでくるなり、

「おっおっ！」と、大きなジェスチャーで私の隣の空いた席を

指さして、後ろから乗ってきたおばあさんに大きな声で指図をし、

自分も丁度空いた向かいの席によろよろしながら慌てて座った。

あ～、これで一安心！おばあさんも座れたし・・・という

安心顔がやさしい。

おばあさんは、私の隣でもの静かに、たんとんと座っている

・・・。

そして私が降りる駅が来た時、想像してみた・・・。

「きっとあのおじいさん、私が立ったら奥さんの隣に席を  
移動してくるぞ！」・・・と。

ひゃ！ お見事！！あたった！



降りる瞬間にふと見返ると、ほ～らね！  
あったり～～～！！

おじいさんが自分の席から立ち上がり、混んだ人ごみを分けて、  
おばあさんの隣の席（今まで私が座っていた席）へ突進し、  
よろよろしながら腰を下ろすところだった！（'◇'）ゞ

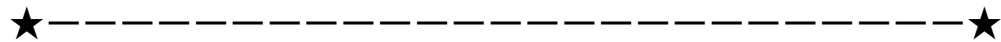
だって、  
次の駅が終点なんだから、一駅位別々でもいいじゃな～い？！

と思いながらも、「たんたん」と前を向いたままの  
冷静なおばあさんと、  
そのおばあさんを愛してやまないおじいさんの  
威張った指図の滑稽さに、思わず頬を緩めながら降り立ったことだった。

大事な大事な奥さんなんですね！（^O^）／

何とも良い風景。

覗き読み・・・これこれ・・・



今日はバレンタインディ。

向かいに座ったかわいこちゃんが、にこにこしながら夢中でメールを打っている。  
カレシとデイトの連絡かな・・・？

バッグの中には、手作りチョコレートが入っていたりして・・・。(^^)ノ

隣にすわったおばちゃま、何でそんなに気になるのか、のけぞりながら  
盛んにメールの文字を読もうと覗き込んでいる目が笑えちゃう・・・。

これこれ・・・。

本当は自分の孫に言いたいこと

---

この季節、受験で日夜頑張っている学生たちの姿や、それを見守る家族の方々の気使いがそこここに・・・。

我が家も無事済んでほっとした時間を取り戻したところ。

そんな時、いつも思い出す車中の風景がある。

3年ほど前のこの季節。

バリッと真新しい制服姿の初々しい高校生が隣に座り、慣れない電車通学に緊張した面持ち。

いいなあ！いいなあ！こんな紅顔の少年時代は長くは続かないのだから、精一杯三年間の高校生活を楽しんでね。

どんなお友達が出来るかなあ・・・。可愛いこちゃんとの素敵な出会いもきっとあるよ！ご家族もさぞお喜びのことでしょう！ほんと！良かったね！

きらきらしたほっぺに、まだ中学生の面影を残している少年を眩しく見ていた。

その隣の60がらみの太ったおばさんも、ちろりちろりとその新高校生を見ている。

そして、ついに話かけた。





「あんだ、勉強しなかったんでしょう！？」

ん？・・・何を言い始めたのかしら・・・？

この「僕」のおばあさんでもなさそうだし・・・？

「だからこんな高校しか受からなかったんだよね」

な・何を言い出すの？

私はびっくりして飛び上がりそうになった！

はっとした少年は自分に話かけたのだと知り、顔を紅潮させて下を向く・・・。



なおもおばさんの毒舌が続く。

「あんた、人生頑張らなきゃいけないこともあるんだよお！これから生きていくのに、努力することも大事！それを怠けていたからこんな制服を着るはめになるんだから！」

人生訓をとうとうと垂れるおばさんと、首をうな垂れ、真っ赤になっている少年・・・。

もう、いたたまれない雰囲気になった時、最後にこう付け加えた！

「ごめんよ、実はおばさんの孫もあんたと同じ高校に通っているんだよ・・・。だから  
ついつい悪いことを言ってしまったね。本当は自分の孫に言いたいことをあ  
んたに言っちゃってさ。」

もう！

ふう～～～！！！！

六本木会へと向かう車中。

久しぶりに「車中の人」 になって、さ～ていつもの「ウォッチング」を始めようと周囲に目を泳がす・・・。

残念、それらしきお方が見当たらない。

・・・と、ある駅に着いて扉が開いたとたん、がやがやと数人の塊が押し合い圧し合いで乗りこんできた。

わやわや、数個空いていた席をめがけて右往左往・・・。

そのあまりの勢いに、座っていた人が立ち上がってそっと別の車両へ移ったぞ・・・。

はぁ・・・。

座るべき人が全部座ったとみるや、目の前のおばあさんが、リュックのポケットをまさぐって何かをわっしと取り出した。

そして、前かがみになりながら、手一杯にこぼれそうなほどの何かを付きだしながら向かいの座席の私達の方にやってくる・・・。

そして、私の隣の女性に「ほれ！」かなにか良いながら差し出した。

その女性がけらけら笑いながら受け取ったのが、「飴」一粒。

次は私・・・！ か・・・？

と身がまえて、「あ・・・、結構ですう」かなんか言おうとしたら・・・！

違った！

私を通り越して、左隣のお爺さんに飴を一粒・・・。

みんな、けらけら笑いながら受け取っている。



（飴印を付けた方たちが「飴一味」（？）だったようだ）

そうか・・・、これが噂に聞く「あめちゃんおばあさん」なのか・・・？ (^O^)/

関西で出没するらしい「あめちゃん」を初めて目にしたことだった。

あやうく、私も手を差し出すところだったぞ。 ふう

ふふふ、たかが飴・・・「されど飴・・・」、笑っちゃいました。

いえね・・・、わらわらと乗ってきた人達が「飴ちゃん一団」だと分かっていたらショックが少なかったのね・・・。

でも、「ほれ！ほれ！」と皆にばらまくのかと思っていたのに私だけ「スカ」はちょっとズッコケでしたよん！（\*艸`）



この絵の私の後ろ姿の「哀愁」を共有してくださいませう～？！！

「たかが飴」されど「飴」！！！（ $\cong \nabla \cong$ ）

昨日は六本木でのディナー会のため、久々に電車に乗った・・・！  
うふ！ さ～て、車中ウォッチングを開始しようかな・・・！ きょろ。

ところが、8月14日は「お盆中」ということも有り、電車はスカスカ。  
あり・・・？ ちょっと拍子抜け。

会食も終わり、外に出てみると雨・・・！  
ネオン煌びやかな街並みを小走りして帰りの電車に飛び乗った。  
ようやく座れた家人と二人の前に、やはり走りこんできた二人連れが立つ。

・・・ん？・・・

その中のお一人が、何とも「わが身を見る思い」のキューピーサイズ・・・。

あは！  
自分が見られているようで、赤面してしまう・・・。



鮮やかなグリーンのリブ編（ゴム編）のニットが、膨らむところは遠慮なく伸びて、それはそれは身体の凸凹に忠実にフィットしている。

このデザインは、ウエストの部分をブラウジングして（ためを取って）同色の紐でウエストで締めて、身頃をウエスト部分でゆるみを付けて着ようになっている筈・・・。







の筈が・・・、この体型ではウェストにクビレがないので、「キューピーちゃん」のお腹のように、ツルリン！と下に行くか、はたまたツルリン！とおっぱいのすぐ下の一番細い部分にたくし上がってしまうのは、火を見るより明らか・・・！（\*´艸`）

だって、一番細い筈のウェスト部分が、キューピーちゃん体型では一番丸くてぽっこんと出ているのですもの・・・。

紐が頂点でじっと動かないでいる筈が無いぞ！（\*\_\*；

世の全てに習い、紐は、楽な方に・・・楽な方に・・・と自分の居場所を模索して移動するのが常というもの。（\*´艸`）

紐がずり落ちれば、ウェストの「ため」の部分もずり落ちるから、その分スカートがズルリと長くなり、今にも踏んづけそう。

(注・経験者 MEMEの解説)

分かるかなあ・・・？ (≧▽≦)

本当に、自分を見るようで、目のやり場に困って居ると、救いの一言が・・・。

「何だか涼しいわね・・・、この電車。

ちょっとカーディガンを着るから荷物を持ってて！」と、お連れの方に荷物を預けると、袋の中から白い薄目のカーディガンを取りだして羽織った！・・・ふう・・・。

下の絵を見て下さい！

ダントツ助かったでしょ？ 目のやり場が・・・。(≧▽≦)



(上の絵をベースにカーディガンを着せただけ・・・)





ウェスト部分もきりりとずり上げ、紐を締め直して、[ブラウジング](#)効果成功！  
やっとこれで安心して座っていただける！！

・・・と思うのは、キューピー体型でないお方の感想。

絶対！絶対！、数分後、ウェスト位置からズルリズルリと前だけ紐が滑ってくるのは避けられない運命。(\*\_\*)

だあ～かあ～らあ～！ (/・ω・)/

リブ編のような、体型に素直に従う生地のお洋服は着ないこと～～～！！

キューピーさんだったら、ウェストマークの洋服は着ないこと～～～！！

ましてや、ウェストをブラウジングするするものなんて、絶対！絶対！着ないこと～～～！！（・・・と、自分に向かって叫ぶ）

誰か有名人のファンの集いの帰りらしく、お揃いの袋に、「ライト」だとか、「団扇」だとかの「グッズ」を一杯詰めて、楽しかったね！と語りあう二人の女性。

雨に濡れようが、ファンの心理はメゲナイ情熱で楽しめるのね。

「リブ編」と「ウェストマーク」の服だけは今後「×」ね！！ お譲さん！

（ん？三十路・・・？）



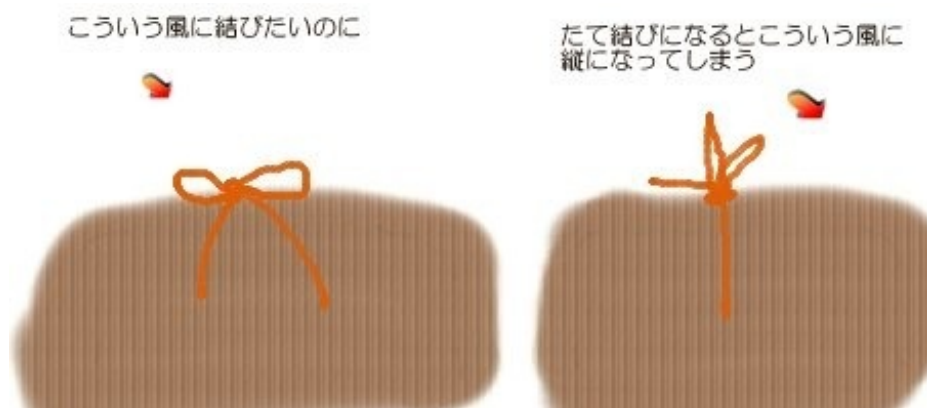
今日は、恒例の「古嫁会」を松戸で・・・。

一人都合が付かずに欠席だったが、小姑（！）も含めて4名が、なんと！5時間もおしゃべりしっぱなし！

帰宅したら、よくもまあ、話が続くものだねえ・・・と家人に呆れられたが、まだまだ5時間は続けられるよ～ん！（～～;)「

オトコにとっては、女って本当に不思議な人種らしい・・・。( ^\_-)-☆

行きの電車の中で、50にならんとする年恰好の女性がバッグの紐を結んでいたが、何回結び直しても「たて結び」になってしまい、しきりに、横になるように強引に手で直しているのを目撃。



どんなに強引に捻っても、絶対に「たて結び」に戻ってしまいますよね・・・。

50近くになっても蝶結びが出来ない女性がいるなんて、本当にびっくり！

しかも、「たて結び」を捻って直そうとするなんて・・・。

きっと、お嬢様がそのまま50になった方なのかも・・・。

ある意味、幸せな方！！

素敵な瞬間を見た！

---

昨夜はヴァイオリンリサイタルにご招待いただきお出掛け、車中の人に・・・。  
乗り込んで直ぐに座れ、ほっと顔を上げると、今しも電車の扉がす〜っと締まりかけた。

そこへ、60台のおじいさんが階段からふーふー言いながら突進して来るのが見えた。  
「あ、危ない・・・！」

その瞬間だった！ 扉の処に立っていた二人の男性が、締まりかけた両の扉を申し合わせたように「がっ！！」と満身の力を振り絞ってこじ開けた！！

本当に、歯を食いしばっての「満身の力」だ！

人一人通れる程に開いた隙間から、「ありがとうおお！」と言いながら飛び込んできた男性は、恥かしさも有ってか、つつつと小走りで中の人ごみに入って行った。

そして・・・。扉は閉まった・・・。

扉をこじ開けた殊勲の二人の男性は、今の出来事が無かったかのように、「そいでさあ・・・」みたいな様子で今までの話の続きを話出していた。

その話が耳に届いた時、「ん」と思った。あれれ、**中国語**だ。

そのお二人は中国人の方だったのだ！

- 次の電車までわずか4分待つだけのことだったが、飛び込んできたおじいさんも凄いが、扉をこじ開けた中国人も凄い！

一瞬の国際的な（大袈裟！）素敵な瞬間を垣間見た気がした。

私が着たら・・・！

---

[日比谷線。](#)

土曜日とあって、塾へと急ぐ親子連れがちらほら・・・。



「え・・・？」面白いスカートだなあ・・・と思っていたら・・・



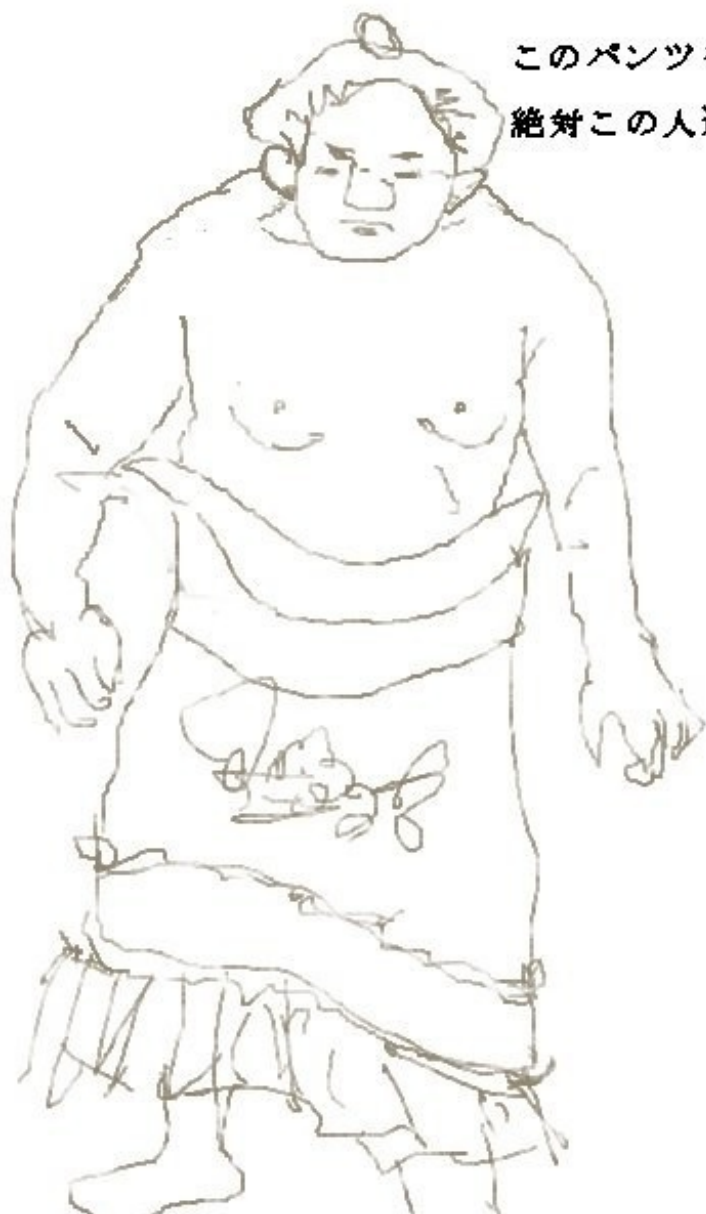
このパンツは

後ろはこんなになった・・・！  
( $\geq \nabla \leq$ )

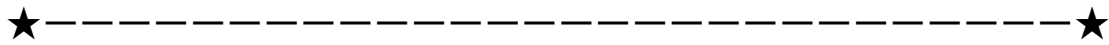


★★★★★

このパンツを私が履いたら・  
絶対この人達に間違えられる。



トリコットのドレス



とある駅から乗り込んできた、日本に着いたばかりとおぼしき  
外国からのお二人・・・。

わ！

おっばいが半分出ている・・・・。

ひよろひよろとした感触で身体を包んでいる「トリコット」の生地が、ますます色っぽさを演出している。

対面に座っている家人の目が、釘づけ?! (～\_～;) 多分!

大きな羽を広げたクジャクの模様の右側の人の手を見て、わお！  
と思った！ ↓



こんな飾り、初めて見た!!! (+\_+)

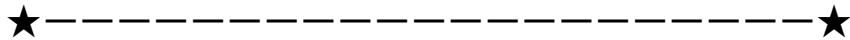
動く度にぷるるんと揺れるおっぱいは、わたしにとって、  
勿論主人にとっても目の保養になりましたあ！ ふふ

日本はまだ肌寒いから、風邪を引かないでね・・・。(～\_～;)

いい旅を・・・!



(ウォッチ君のウォッチ)



向かいに座ったサラリーマン風の男性が、大きなあくびを繰り返す。  
やだ・・・、私まであくびが移って、かみ殺すのに一苦労。

その隣の「宇宙防衛隊」(?!) 風な、白いステッチだらけの服  
を着ている男性・・・。

細い眼鏡が今風で、頭髪をブラシのようにツンツン立ち上げて・・・。

・・・とある駅で、ぶわんぶわんの金髪を揺らせた  
グラマーちゃんが乗りこんできて、華やかな仕草で  
「眼鏡くん」の斜め前に座った。(つまり、私と家人の左隣)



勿論、金髪は金髪でもお顔は純日本製。

そのとたんに、細眼鏡の目がキラんと光ったのを素早くキャッチしたぞ・・・(^\_-)！

その金髪さん、目がつけ睫で真っ黒け！

どこに眼球が存在するやらわけわかめ状態・・・ながら、全体で見るとかなり華やか。

気付くと、細眼鏡が小さな本（だと思う）を取りだしてそこに何やら描き出した。

何処から出したものやら、いつの間にやらしっかり鉛筆を手に持っている。

そして、5秒毎に金髪に目線をチラリ・・・、

どうやらスケッチしているらしい。

金髪はそ知らぬ顔で携帯を打ち捲くり。

本に見えたけど、もしかして小さなスケッチブック？。

さては、常習犯（？）か？

ありゃ・・・、私達が降りる駅に着いてしまった。

降り際、ナニゲによろける風を装ってスケッチを見ようとしたが、微妙に身体で防御されて見えなかった。残念！

それにしても、車中で盗みスケッチなんぞして良いのかなぁ！？

ありゃ？、私も「目から」だけだけどしっかり頭にスケッチしている・・・。

もしかして、私も同罪・・・？

・・・と、電車の中はウォッチングの材料に事欠かない！（^o^）

(明朝の眉が心配・・・)

---

明朝の「眉」が心配・・・

★-----★



午後から所要で出かける。

電車の前の椅子に座っている女性・・・、ちょっと可愛い。

清楚な面持ちと、赤いブラウスのちょうちん袖

(・・・って今どき言うかぁ?) がマッチして、うん、良い感じ。

足元は、今はやりの「ボーン (骨) シューズ」。

と思ったのも束の間だけ。

ごそごと赤い大きなバッグから取りいだしましたる例のポーチと鏡。

それからの25分の奮闘は、例によっての人目も憚らぬ真剣勝負。

だんだん、だんだん、目が釣りあがり、全くの別人かぁ?と

思うほどに変身しだし、勢い余って、隣の空いた席にも使いかけ

の小道具をちょっと置いたりして、

睫を少しでも長くしようとブラシでこするのに夢中。





そこに乗り込んできたおじさん。

座ろうとした席に眉ペンシルらしき小道具が置いてあるのを  
「チラリ」と見て、ちょっとヒルンダかな？と思った瞬間、  
何と！「どっしん」とその上から座ってしまったぁ～～！！！！

太ももの辺りに棒のような感覚が触っているだろうに、  
しっかりと目をつぶって知らん顔。

くだんの彼女はそんな事情は知るよしもなく、  
すっかり変身した顔を満遍なく鏡に映して納得するや、  
ごそごそと取り出したのが・・・！  
わ、赤い縁の大きなサングラス！

前にもそんなシチュエーションがあったが、まさに又同じことが・・・。  
せっかく25分塗り捲った目を、赤色のサングラスで  
しっかり隠し、おまけに、前髪を引き寄せ、  
おばけ～～～のように顔を覆ってしまった・・・。

何のための25分だったのさ・・・。

ところで、おじさんの太ももに敷かれた眉ペン、  
どうなっただろうか・・・。

明日の朝、お化粧をしようとした彼女を襲うパニック！  
眉無しでご出勤か？　(>\_<)

いえいえ、例のサングラスがありますワイ！

### 冷却タオル

★-----★

先日の車中・・・。

暑くてうだりそうな外気、電車の中に入ると「うう～！ 生き返る！！」  
心境。

ふと、前に座ったおじさんの首に目が行く・・・。

あぁっ、 「あれ」 だぁ・・・！ (+\_+)；

綺麗な[コバルトブルー](#)の「水につけて絞るだけで冷たい冷却タオルに」  
（仮名）を首に巻いて、涼しそうな顔で座っていらっしゃる・・・。

実はこれ、私も買ったのだぁぁぁ～！

そして、語るも涙の経験をしたのだった・・・。



★

ある日、[ラジオ](#)を聞きながらミシンの前で仕事をしていたら、

「今日は、アノ！ナサで研究された、水につけるだけで冷た～いタオルに変身する、魔法のようなタオルをご紹介します・・・」という  
「ラジオショッピング」の女性の声に、ふと、耳がピクリとなった！

実はこの間、わんこのルリちゃんのお散歩用に、同じような  
「水に浸してから着用すると何時までも冷たさが持続する・・・」  
というワンコ用のベストを買ったばかりだった・・・。

それが・・・！！！！　何と、[宅急便](#)代を入れて5000円弱の  
大枚をはたいて楽天から買ったのに・・・、わ！！



水に浸すと、いくら絞っても「どすん」！！と重くなってしまい、裏は水が漏れない様にしっかりとビニールコーティング・・・。

ルリちゃんに着せたら、まるでフェンシングの人か中世の鎧の騎士みたいな格好になり、玄関で固まって一步も動かない・・・。[\(-\\_-;\)](#)

そんな失敗の折の、ラジオショッピングのこの魅力的な「冷却タオル」？  
ときたまんだ！！  
そうだ！  
この魔法のタオルで　　ちゃ！ちゃ！っとルリちゃんのお散歩用  
冷え冷え洋服を縫ってあげよう！！

何て素敵なタイミング！　　(^O^)/  
何て素敵な私の発想！！　　ルン！

そこで私、早速[ラジオ局](#)に電話をした！！　　意気揚々と・・・。

「お買い上げありがとうございます！  
この商品は、【二個買うと宅急便代が一個分ゼロになりますが、  
二個お買い上げは如何でしょうか】」と可愛い受付け嬢の声。

そうさな・・・、ルリ洋服を二枚作ってあげても良いんじゃない？

ほ～ら、早速お誘いに載ってしまうわたくしめ。  
「は～い、では、二個お願いし～す」・・・＝^\_^＝

その後何が起こったと思いますう～？？！！

数日後、待ちに待った宅急便が届き、           わお！  
開けてびっくり玉手箱！！  
一枚ずつ二枚届くと思っていた私の目に、大きな箱が二つもどどん！！と。

しかも！しかも！  
一箱の中に、こんな ↓ 大袈裟なハードな筒に入ったタオルが5つ！！  
ぎっしりと詰まっていた！！  
それが二箱、つまり、がぼがぼのハードな筒が10個・・・！！！！！！



わお！  
どうしよう・・・。  
聞いてないよぉ～！！           （私が聴いていなかっただけかもしれない・・・）

私の脳内では、一個に付、小き目な湯上りタオルが一個分・・・  
だと思い込んでいたのだ・・・！

でも、ま、仕方ない・・・。  
5個入った一箱は二階にプレゼントしましょう！！  
それで解決しよう！！

と思った私がバカでした！

二階の息子一家にもと意気揚々と持って行くと、「ありがとう！  
でも、これ、幾らで買いました？  
**これと同じようなのが、○百円の均一コーナーで売っていますよぉ！！**」  
だと！！！！

・・・(-\_-;)　　がく！

でも、そういうのとは品質が違うんじゃない？  
だって、この一箱で3000円以上するものなんだから・・・  
と脳内で反論の私。

その自信が完璧に裏切られたのはその直ぐ後だった・・・。

五個のケースの中から、可愛いピンクを選んで、さあ、ルリちゃんの  
「冷え冷え洋服」を・・・と張り切って裁断し、縫って着せました・・・。

その時点では、特殊な液で柔らかくしなやかなタオル状の生地だった。  
のに、まさか！まさか！その後思いも寄らない事が起こるとは！！！！

水に浸して、ルンルン気分でルリちゃんに着せました！

そして、先述のフェンシング防具もどきと違い、軽々、冷え冷えのこの服は  
快適で、ルリちゃんも何の抵抗も無くお散歩に出かけました！

お散歩を終えて、脱がせた洋服をその辺に置いていたのを忘れて

気が付いた時にその服がどうなっていたと思いますう～！！！！？？？？





きゃぴ～～ん！！！！

まるでスルメのヒラキ！！！！

．．．．．。

この生地は、二階のママに言わせると、常識的にそうなのだそうだ．．．。  
知らぬは私ばかりなり．．．！

再び水に漬ければ元通りのしなやかなタオル生地になる．．．んだと！  
知らなかったよぉ～～！！

でもまあ、取り敢えずルリちゃんの「冷え冷え洋服」は一枚できたし、  
私の首に巻く為に一枚使ったし、5個入りの1箱は二階に上げたし．．．、  
あと三個はどう処分しよう．．．と思案投げ首していたところ、  
ママが良い案を提供してくれた！！

【合宿小僧（孫1）のところに送って良いですか？、  
頭を洗ったりした後日常的に安いこのタオルを使っているようなので．．  
友達にも上げて貰いましょう】

おお！　そうして頂きましょう！  
少しでも彼の役に立てるのなら、今回の大失敗も「自分を許す」  
感じになるので．．．。　　=^\_^=

．．．．．で、二階のママが送る荷物の中に入れて送って貰った今日．．．！  
大きな肩の荷を下した感じ．．。  
ふう．．．、ちかればたび．．．。（+\_+）；

★



ところで、車中ウォッチングのおじさんの数時間後が心配な私。

首に巻いた「冷え冷えタオル」の**賞味時間**（？）が過ぎた時・・・、  
おじさんの首には、ベきベきの「スルメのヒラキ」が・・・。  
(\*\_\*;

ひえ～～～！！！！

[怪談](#)より怖い風景かも・・・。( + 0 + );

・・・と、私の失敗談でした！ (\*'艸`)



(帽子の被り方)

---

## 帽子の被り方

★-----★

所用で出かけた車中で、前の席に座ったご婦人・・・。



あのお～・・・、その帽子の被り方、違ってません？・・・

これだと、額に△が来て、「さん○の川」を渡る人  
みたいじゃありません？・・・

もしかして、正しい被り方は、 ↓ では・・・？ (^^ゞ



はおっているコート（？）が、木綿の紵で出来ていて、  
ちょっと珍しい。

私も、手持ちの着物でコートを作りたいといつも思いながら  
実行できないでいる。

実は、この方はきっと、凄いおしゃれ心をお持ちなのだと思う。  
私の思いより一足早くそんなコート（？）をお召しだし・・・。  
（ただし、木綿の紵で・・・とは思いつかなかったが・・・）

ピンクと黒の大胆な模様のセーターも、単独でお召しだと  
きっと洒落た感じなのね・・・。

紵の下だと、そのオシャレ度が全く逆を行ってしまうのも残念



・・・。

その心意気は素敵だと思う。

でも、・・・、ごめん、言わせて貰いますね・・・、

首に巻いた「**草木染**」だと思われるスカーフ(?)の扱いが、  
紺の上着と相まって、「**手ぬぐい**」を捲いたように見えるのね

・・・。

ごめん、本当にごめん・・・。

何度も結び方の調整を気に掛けていたので、もしかして愛の  
籠ったお手製の「草木染め」かもなのに・・・。

だってこの方、帽子の被り方と手ぬぐい・・・じゃなかった、  
スカーフの扱い以外は、お洒落心満載なことは  
伝わってきているの・・・。

大きなマスクで覆われているけれど、辛うじて覗いている  
眉間の皺などから察すると、私位の年齢の方にお見受け  
するけれど、見てください！

「**真っ赤な皮のシューズ**」を履いていらっしゃる！！

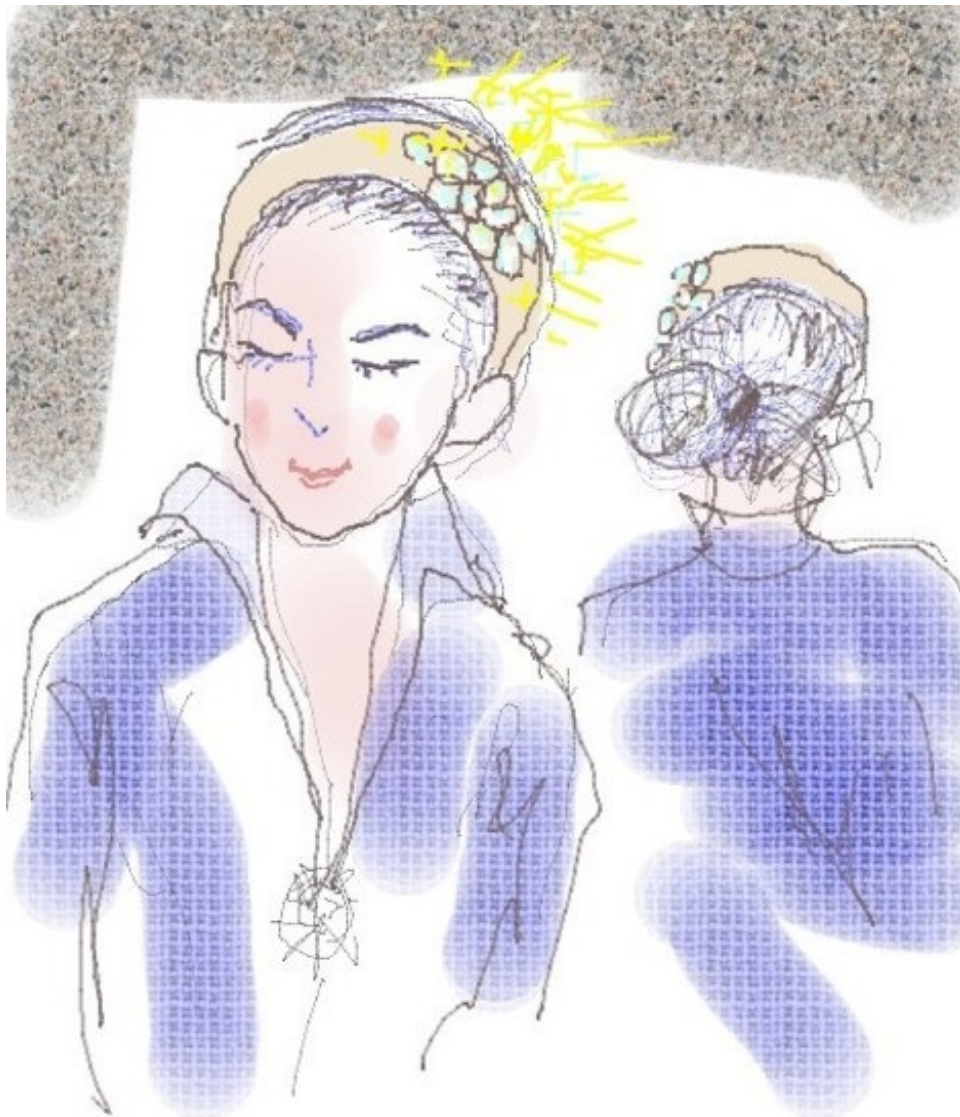
お帽子だって、[マニュアル](#)通りに被ればお洒落さん！！

惜しい！！

(銀座線で・・・)

出来るオンナ・・・

★-----★



出来るおんな！！

銀座線の女性。

とある駅から乗ってきたのを見て、「あれ？頭頂が剥げて  
いるう？」と一瞬思ってしまったほど、

幅の広い肌色の[カチューシャ](#)で白髪まじりの髪を止めていらした。

前に座った彼女のそのカチューシャの左には、

親指大の大きな大きな10個ほどのクリスタルの花が飾ってある

・・・。

こんな大胆なカチューシャは初めて見たぞ！！！！

１００均のものしか使ったことがない我が身、ひょえ～！

と思ってしまう。

きっと、外国か何処かで求めたのだろうなあ・・・。

こういう大胆な装飾品をさりげなく身に纏えるセンスも凄い！

それにしても、何て幅が広いカチューシャだろう・・・。

しかも、肌色のシルク？

だから思わず、「磯野家のおとうさんか？」と思って

しまったのだった。

(^\_-)-☆

襟をシャッと立て、姿勢良く座っている彼女の

「出来るおんな！！」ムードに、思わず魅入ってしまった。

彼女の降り際に見た後ろ姿の、ほぼ白髪のストレートの髪を

一纏めに括って留め上げた無造作の中の美にも文句の一言も無い

「お手上げ状態！」の気分を味わった！

私もこんな女性になりたかった・・・。=^\_^=

ほんと！ 「出来るおんな！！」 ムード満載。

同じ女として（まだ取り敢えず女・・・）ここから羨ましい。



### 紬の利用法

★-----★

連休中日ということもあり、電車が混んでいて、  
やっと座れた私達夫婦。

とある駅で、どどっと乗り込んできた人の群れのなかで、  
英語を喋っている女性の声が・・・。

結構混んでいて、私の前に若い女性が立ち塞がり、  
その声の主を見ることが出来ない。

隙間からちらりと見ると、お年を召した70歳前後の女性と、  
多分ご主人かと思える年恰好の日本人の男性が並んでいて、  
男性はずっと窓の外を見ていて、時々短く何か返事をしている模様。





この年恰好の[国際結婚](#)だとしたら、女性は物凄い決心で日本に来たのだろうなあ・・・、ご主人を頼りにしながらここまで生きて来たのだろうなあ・・・？  
だから、こんなにいろいろ話掛けて仲良くしているのだわ、きっと。

・・・と、切れ切れに見えるお二人の姿と話声だけでちょっと想像を膨らませていた。

ふと見ると、彼女のおズボン（！？）が何と、日本の着物の  
紬織の生地を使っているらしい面白いデザインのものと

気が付いた。

しっかり織られた紫の「ぼかし」の生地で、もしかして  
「帯」を[リフォーム](#)したものではないかと目を凝らす。  
ユニークな裁断で、リュックとスニーカーのラフなイデタチに  
マッチしている・・・。

実は驚いたことに、その直前に「暇が出来たら、自分の着物の  
紬を使って軽いコートを仕立てたいな・・・」とあれこれ  
裁断方法やデザインなどを空想していた時だったので、  
「着物を使って服を作る」という[共時性](#)にも  
びっくりしたのだった。

彼女のような斬新なデザインはとても着こなす自信はないけれど、  
「着物地で洋服を・・・」の願望がこの一件でぐっと  
身近なものになった。 (^\_^)v  
よ＝し、やってみよう！！！！

ところで、この女性は余程「紫」がお好きなようで、  
ご主人の[ブルゾン](#)や帽子もちょっと渋い紫がかったグレーだったし、  
彼女のズボンも紫、襟から覗いているマフラーも色鮮やかな  
手編み風の[モヘア](#)、白髪に少し紫のヘアマニキュアをしている  
ようだし、吊革に掴まる手首には、アメジスト（紫水晶）の  
濃淡の石のブレスレット。

全身好きな紫で纏めたお気に入りの恰好のよう・・・。

何処へいらっしゃるのか、リュック（古い！）はパンパン！！  
しっかりと背中にしょったまま。

彼はといえば、すかすかの黒いリュックを降ろして足元に・・・。

彼女の、いかにもパンパンなリュックには目もくれないで・・・。

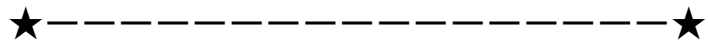
いらないお世話だけど、レディファーストの掟・・

それでいいのかなぁ・・・

日本男児さん！

重いリュックをサポートして上げてもいいのでは・・・？(≧▽≦)

日暮里繊維問屋街というところ



日暮里ってところは、ファッションが面白い。  
ピンからキリまでのファッションが見られるのが楽しい。



信号待ちする二人も、正に「日暮里」を行きかう人々の中の二人。

さ～て、右に居るのは誰でしょう・・・？ (～\_～;)

はい！ 当たり！！

★-----



帰りの電車の中・・・。

とある駅で降りようとして立ち上がった女性がよろめいた。

おととと・・・。

見ると、お召しになっているスカートが、アシンメトリーに  
左が垂れ下がったひと頃流行ったデザイン。

その下がった先を踏んでしまったのね・・・。



ダメダメ　　おば（あ）さん！

そんなスカートを履いたらダメですよ～～ん！！

年相応に、「危険」なファッションは諦めましょう！！

(^\_-)

と自分にも言い聞かせる・・・。

笏を持ったお内裏様・・・？

---

車中風景

★-----★

.....



まさか！ (^\_-)☆

ふふ、皆がお内裏様に見えてきた・・・！

皆一緒に「笏」を持ち・・・

ユニフォーム姿の二人

★-----★

今日の車中ウォッチング・・・。

電車の端に立って居る二人の男性。

とても魅力的なブレザー姿に思わず見惚れていた。



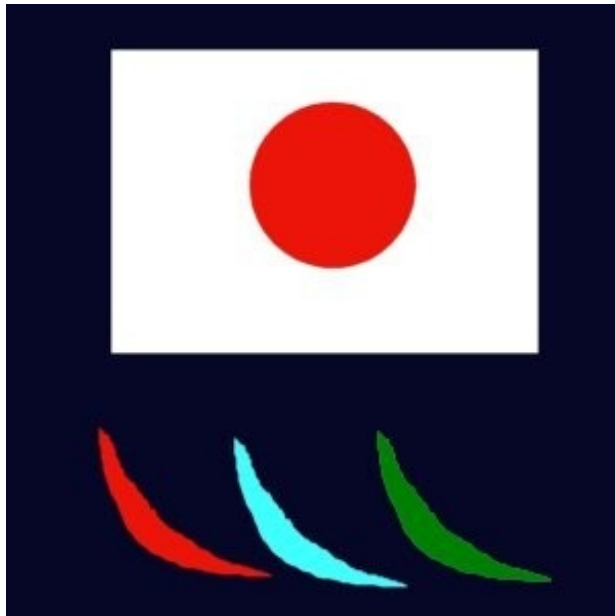
グレーのズボンの皺がとても良い感じで、[クロッキー](#)をしたい位。

時々ズボンに手を突っ込むと、ぱっくりした素敵なお尻の線が見え隠れし、

身体に合った仕立てのブレザー姿が本当に素敵な二人。

彼がふと身を振ってこちらに向いた時！！！！！！

おおおお！ 胸に輝く「ロンドン五輪選手のエンブレム」を見てしまったのだ！



（もしかして、「[JAPAN](#)」が入っていたかもしれない・・・）

（正しくは、下の画像【パラリンピックのエンブレム】でした！）

（色の順番だけを覚えるのに必死で、エンブレムの形まで気が行かなかった為の失敗・・・。）(≧▽≦)



素敵すぎる！！！！！！ (^O^)

スポーツに携わっているだけあって、さすがに身体の線が素晴らしいわ！！  
（絵はちっとも素敵に描けなかったけど・・・）

下の波のような三本の線は何を意味するのだろう。  
「赤」「青」「緑」の順番だった。（ほんの二秒位で見ただけだったけど）

紺のブレザーの襟の部分に、白と赤の細い線が入っているのも洒落ている。

・・・で、家に帰ってから見たテレビのニュースで、この赤白の線が入った  
紺ブレザー集団の映像が映っていた！！  
何の種目なのか知らないけれど、確かに、確かに、ロンドンオリンピックに  
出掛ける空港での映像だった。

何だか胸が高鳴った！！（^O^）／

★—————

一つだけ「ウォッチング的」なものを「み～つけ！！！」ふふ

絵の左の男性の、紺色ブレザーのお尻のスリットの「バツテン」が付いた  
ままだったぞい！

カッコよくズボンに手を突っ込む素敵な仕草も、あれれれ、絵のように  
たくし上がって・・・。

右の方！ 教えてあげてね！！（^\_-）☆



ちなみに、このロゴは【パラリンピック】のもので、色の意味等は下を参照。 ↓

[http://sn1.e-kokoro.ne.jp/english/olympic/whats06\\_05.html](http://sn1.e-kokoro.ne.jp/english/olympic/whats06_05.html)

(2012年8月)

一口コント！

---

一口コント

★-----★



この画面を見ながら想像してください。

お父さん 「お前なあ、ちゃんと勉強してるのかあ？！  
もうすぐ5年になるんだぞ！  
毎日毎日遊んでばかりいるから、試験は0点だろう！」

ガムを噛みながらのほ～んとした子供

「違うよ、お父さん。

0点じゃないよ、算数は10点だったよ」

お父さん 「・・・、な・・・なに?!お前、本当に10点だったのかよ!」

お母さん 「え～っ、聞いてないよ～!!」

三人の間に、不穏な空気が満ち満ちて・・・。(^^;)

お見事な「一口コント」が展開されていました・・・。 ぐふふ

## 秋葉原の「メイドさん遊び」？

---

昨日の車中で、ネタ満載の人に出会った。

今日は、その中でも「え～っ？ なにこれ・・・」状態のおっさんのお話。



車中で、目の前にこんな格好のムクツケキ男性を見かけたらびっくりしますよね・・・  
！

はい、私もびっくりしました～！  $\Sigma(^{\circ}\Delta^{\circ};)$

なんと、三つもバッグ（袋？）を肩からぶら下げていて、その全部に「少女漫画」風なかわい[こち](#)ちゃんが印刷されていて、キラキラがコーティングされているのです～！  
しかも、腰から下げている「ジャラジャラ」した飾りが、ぜ～んぶ「カワイ[こち](#)ちゃん」

関係。



(Yahoo画像から借用)

こんな感じ。

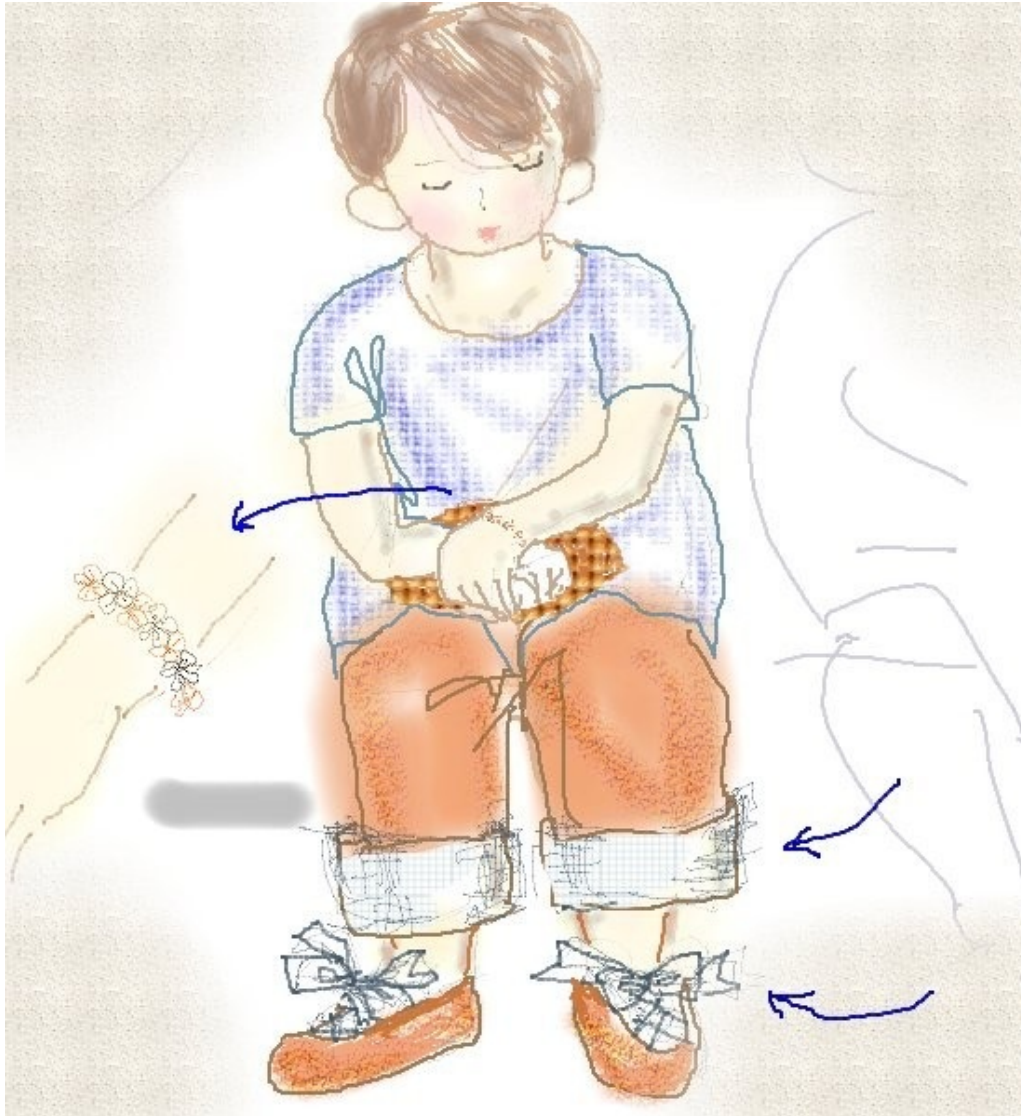
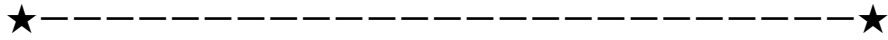
そして、予想通り「[秋葉原](#)」でいそいそと降りて行かれました～！！

なんとなく「[メイドさん遊び](#)」のことは知っていましたが、こんな中年のおっさんがこんな格好で夢中になっている姿を見るなんて...

Σ(°д°；)

びっくり！びっくり！

ミサンガ編



六本木に向かう車中・・・。

前に座ったお嬢さん、何と飾りつけのない服装なこと！

だぶつき気味のTシャツに、ぶかぶかのオレンジ色のズボン。

イヤリングもネックレスも無し・・・。

普通の運動靴の色をぶかぶかズボンとお揃いのオレンジにしている  
あたりは、まだちょっと気を使っているのかな・・・？

・・・と思いながら、ふと見ると、手首に巻いた「ミサンガ」風



の飾りが 何と！ レースの小花。

普通に洋裁に使うこの小花模様のレースは、「オレンジ・白」が交互になった可愛い見慣れたもの。  
このレースをこんな風に使うなんて、想像も出来なかったなあ・・・。

でも、どんなジャラジャラした装飾品より、彼女に一番よく似合う！！

・・・と、視線を下に降ろすと、わ！ 何と！  
オレンジのぶかぶかズボンの裾の折り返しが・・・！  
白い生地自分でネット生地をプラスしたらしい、可愛いふんわり感が  
涼しそうで[オサレ](#)！！

なにになに・・・？！！

その下の運動靴を見て、またまたびっくり！！

普通の「紐」を透明な「[オーガンジー](#)」のリボンに替えて履いていた！！

このおしゃれ感は、只者ではないぞ！！  
ちょっと見、「ぼっさり」した今どきは見られないような純朴な御嬢さんに  
みえたが、なんの！なんの！  
こんなに自分だけのお洒落を楽しんでいる凄いお洒落さんだったのだ！！

いやぁ・・・、気付いてあげて良かった！！  
完璧に見落すところだった・・・。

### (マンタのマント)

★-----★

コンサート帰りの電車の中。

ふと前の座席を見ると、面白いオーバーを着ている男性に目が留まった。

茶色の大胆なチェックの、何処か[アジア](#)風なざっくり織りの生地で、襟がだらしなく大きい。

その大きく開いた襟元には、木彫りの大きな数珠のようなネックレス。  
その先の胸のあたりに、これまた大きな木の十字架・・・。

一心不乱に携帯を打っている。



ソー オーバー 編

隣の黄色のジャンパーの女性が、微妙にその男性に寄りかかりながら目を閉じている。

よく見ると、二人の左手薬指に細いマリッジリング。

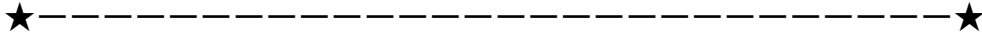
ああ、ご夫婦なのね・・・。

ある駅で連れ立って降りていったが、ホームを、海中のマンタのようにオーバーを翻して消えていった。



う～ん・・・、あのセンスは今どきの男のもの・・・？

ピコットちゃん



昨日の続き。

「この頃のおのこ」の第二弾！

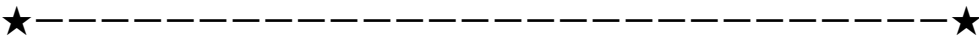
マンタのマント・・・（ややこしい）・・・のおのこの隣の隣に  
座っていた彼     ↑

可愛いピコットが一杯ついた大きなショールを、  
無造作に、首のあたりに黒の模様を出すように仕向けた羽織り方で巻きつけ、ぬくぬくと座って  
いた。

おのこがこんな着方をしているのは初めて見たぞ・・・。

ピコットちゃんと呼びたくなった・・・。

こぶ



電車のドア付近をふと見ると、美しいお嬢さんが立っていた。

でも、その立ち姿がなんだか落ち着かない・・・。

その要因を考えてみた。

つまり、[ピンヒール](#)の靴に重心を載せることに心が行きすぎ、  
ふくらはぎに「コブ」を作って必死に耐えている・・・図。

せっかく清楚で美しい方なのに、「コブ」メ！      "(-"-)"



★

上の絵を全く動かさずに、スカート部分だけ描き変えてみたら・・・ ↓





ほ～らね！！ (^O^)/

素敵な素敵な知的なムード漂うお嬢様になったでしょ？ !(^ ^)!

もしくは、上のスカートのままだったら、ピンヒールは辞めましょう！  
普通のヒールで颯爽と・・・の方がお似合ですよ、きっと。

せっかく美しい若さが、このニックキ ピンヒールでオジャンになっているのを見ていて、ご本人には分からない事なんだろうなあ・・・  
とちょっと悔しい。

な～んて、またまたお節介なおばあちゃんの独り言・・・。

人様の事を気にする前に、自分の姿に気を向けたら！？

「はい・・・、そうでした・・・」 ぶひ （\*艸`）

.

(スカーフ)

★-----★

恒例の「古嫁会」（義妹を囲む嫁軍団）の為、車中の人になった。

ふと見ると、

目の前に座った可愛い女性のスカーフがとっても素敵だった。

ふんわりもこもこした大判のスカーフを、さりげなく首に巻き付けた  
だけなのだが、それだけで華やいだ雰囲気漂う。

お召しの服は何の変哲もない黒い上下。



膝に乗せた、大きな豹柄のバッグがインパクトを添える。

可愛らしい瞳の女性で、同性の私でさえ思わず見惚れてしまう。

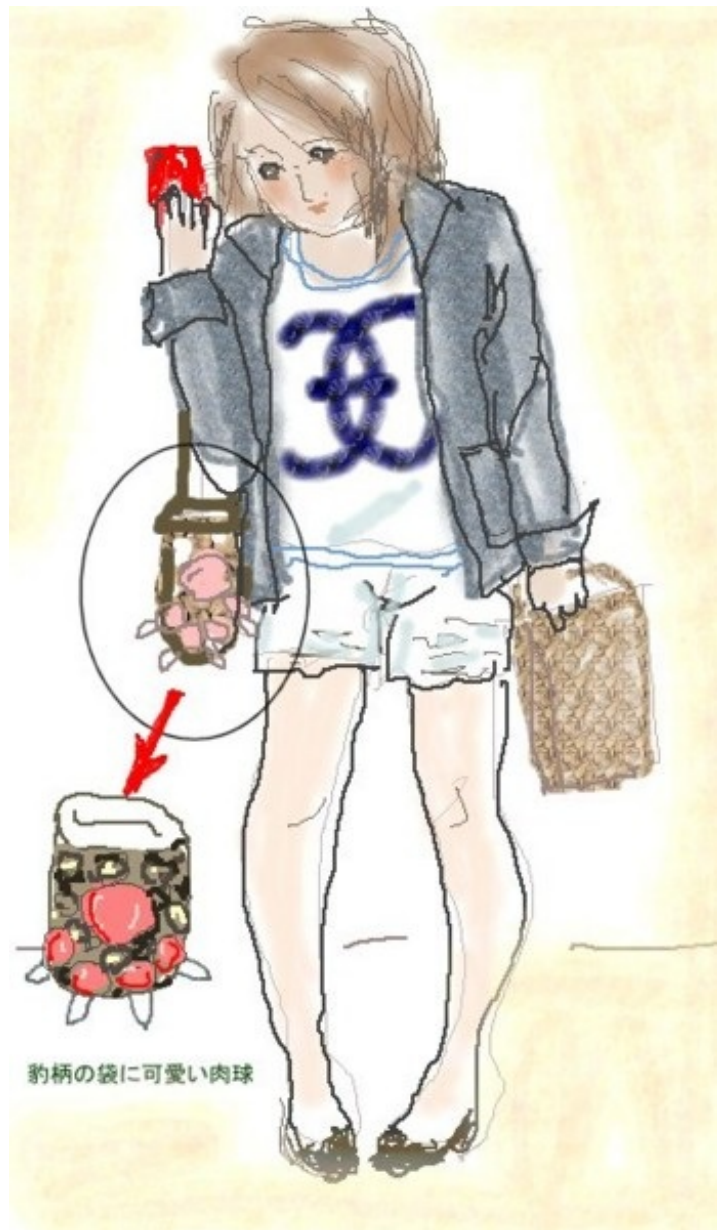
こんな美しい瞳に、一時間だけでも良いからなってみたい・・・  
などと叶わぬ願望と羨望で見るともなく見ていた。

・・・と、豹のバッグから、携帯を取り出した。  
何と、それも「モノトーンの豹柄」！！！！

余程「豹柄」がお好きと見える・・・。

それにしても、大判のスカーフをこんなお洒落に身に付けてみたいものよのお・・・。  
それには、もう3cm首が長くないと・・・。

ふう・・・。



今日の車中ウォッチング。

前に立って居るお嬢さんのTシャツのロゴ・・・、これ、シャネルもどき？・・・！

横棒一本が入っていても、シャネルに見えてしまうところが面白い。

短パンのダメージ度合いが凄すぎて、やん！ 見えてしまいそう・・・。

肩にさげた携帯の袋にはびっくり！！

豹柄の袋に、大きな「[肉球](#)」！！

それに、大きな「爪」がニョキニョキ出ている！！

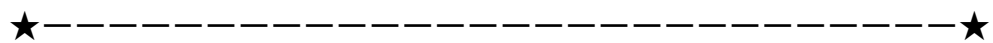
今どきのお嬢さんは、おもしろいことをしますねえ・・・！

ひょ～、コワ！！





ほっこり



さて、今回の「車中ウォッチング」は、【優先席】の話。



日比谷東横線のとある駅で乗り込んできたカップル。

30後半から40前半かな・・・？という年恰好のふたり。

優先席に陣取っている私の前の席に、その女性をいざなって座らせる  
ちょっと魅力的な男性。

あれ・・・？優先席なのにそんなお若い方が座って良いのかな・・・？  
と廻りを見渡すと、充分資格があるような方（つまり、よぼよぼさん）  
もそこここにいらっしゃる・・・。

そこで気が付いた。

もしかして、「あかちゃん」が・・・?????  
[高齢](#)出産ならこのお歳でも有り得る・・・。

お化粧っけはないけど美しい顔立ちの女性が、座ったまま上目使いで  
男性に話しかけている姿が何だか素敵・・・。  
その話を聞こうと少し腰を落としている男性の姿も素敵！

ジャケットの腰のスリット部分から、しわくちな白いシャツが  
飛び出しているのも何だか素敵！！  
ウェストポーチも今風で素敵！

・・・と、ある駅で彼女の隣の優先席が空いた。  
すかさず、その「素敵彼」がするりと座った・・・。

あれえ～～??

ま、周辺がカラリと空いてしまって誰も居なくなったのだから、  
別にいいんだけどお～～！（^^ゞ

彼も座ったということは、別に彼女が「お目出度」では  
無かったのかもしれないわ・・・。

な～んだ・・・、「高齢出産の奥さん」を庇ってあのよう  
に颯爽と優先席を確保しようと画策したんじゃないのね・・・？

勝手に今流行の「高齢初産」のストーリーを頭に描いていた

自分が可笑しかった！！ (～\_～;)

．．．．ところが！

ある駅で降りる二人の姿．．、彼女が、席から立ち上がる時に見せた仕草．．．。  
守る様にお腹に添えた手．．．。

その彼女を優しくサポートする彼。

わ、やっぱり「あかちゃん」が居たんだわ！ (^O^)/

ひとりで頬が緩んでしまった瞬間。

可愛いあかちゃんが無事生まれますように．．と、窓越しに見える  
ホームの素敵なお二人に暖かいエールを送ったことだった。

.

かなしき「デブリン部隊」

---

かなしき「デブリン部隊」

★-----★

恒例の「六本木会」に出席のため、車中の人になった私。

土曜日だということも有って、なかなかの混みよう。

勿論、「あわよくば・・・」と【優先席】に突進したことは言うまでもない。

ところが・・・、老人たちがひしめく優先席区域の席に、若～い青年がすまし顔で座ったまま。

その前には、私と、それに輪を掛けたドスコイさんが二人立ちふさがっているのが目に見えぬか・・・！！という迫力で吊革をぎこぎこさせながらぶら下がっている・・・のに・・・だ。      こわ！



でもでも、この怪獣女たち（知らない同志）にも全然物怖じせず、  
優雅な涼しい顔で鞆からサングラスを取り出して丁寧にウェットティッシュで  
なぜなぜしたり、ツンツン髪をかさ上げする仕草を見せたりして、  
そこだけそよ風が立つような風情・・・。

彼から見たら、自分よりはるかに体格が良いこのむんむん軍団を労わる  
気持ちなんて100% ゼロだったのだろうなあ・・・。  
「優先席」だと知っていても・・・。

しかも、ぎんぎんに厚化粧して、イヤリングをジャラジャラ下げて、  
如何にも若ぶっている女になんて・・・。  
(あ、となりの人・・・ね)

でも、歳は歳、膝がいたいのお～～ん！ 理解してえ～！！ (+\_+)

あまりにも色白でたおやかな仕草に、もしかして「女性・・・」と思って  
ブラウスのボタン穴の方向を見定めようと覗きこんだら・・・！ すご！  
こんなシャツ、初めて見たぁ～！！  
つまり、普通はボタンの穴かがりが男性なら左にある筈だけど、  
彼のシャツは、右と左に、交互に穴かがりが空いていて、どちらでも有効・・・  
という優れものだった！！

ま、汗まみれ軍団も、絶対に席を譲って貰えなさそうな成り行きに、  
鼻息も少し冷静になったところで乗り換え駅に着いてしまった。

もしかして、若くても身体に不都合がある方だったかもしれないので、  
勿論責める気はないが、サングラスのお掃除云々は別として、  
「目に見えない苦痛」を抱えている方だと分かる方法はないものかしら・・・  
と、つくづく思ったことだった。



## 美しき「優先席」のひと

---

### 美しき「優先席」のひと

★-----★

さて、乗り換えた電車も勿論「優先席」を狙って・・・。  
始発駅だったので座れてほっとし、六本木まではゆっくり・・・と思いながら  
ふと前の席を見ると、[あやや](#)や・・・、このむさくるしい電車の空気が  
そこだけ「さらりん～～♪」と清々しい風景に・・・。

きりりと白い[半襟](#)を程よく覗かせて、シャリ感のある一重の着物に身を包んだ  
清楚な若い女性が座っていた。

20台前半・・・？

しっかり白[足袋](#)の足を揃えて、うつむき加減の色白の頬が美しい。

髪をきっちり一本の後れ毛も見逃さずに見事に結い上げた風情は、  
もはや素人の域を出ている。

おじい・おばあさん達の間で光っている彼女が何で「優先席」・・・？

良く見れば、薄いグレー地に白い大きな格子の着物に締めている帯が凄い！  
何と、純白のレースのひらひらで出来ている・・・。  
その帯の中心で輝いている「ヒスイ」の爽やかな大きなグリーンの[帯留め](#)。

もう・・・、何もかも「普通」じゃない！！！！

あれ、気が付かなかったけど、左胸には、クリーム色の大きな薔薇の  
コサージュが・・・。  
きっと、[帯締め](#)の翡翠の色と合わせて、一層の華やぎを表現したのでしょね。

ほんと、なんなのお～ このお方はぁ・・・。

薄化粧の輝くような若さにこのイデタチ・・・・！  
う～ん、タダモノではないぞ！！

そして、最後に発見したものにまた仰天したものだ！！ (\*\_\*)



先ほどの電車の中で思った「優先席での[自己主張](#)」を、完璧に実現していた！！！！

【お腹に あかちゃんがあります】と描いたプレートを下げていたのだ！！！！

これで堂々と「優先席」の住人で過ごせることになる・・・。

凄い！

ある駅で降りる彼女の立ち姿をみたら、お腹はほんのりふっくらしていて、  
そこへふわりと締めた純白のふりふりレースの帯が、これまた可愛く  
【短めの舞妓帯】に垂らしてあった・・・。

ふう・・・、こりゃ参った！

完璧。

でも、後ろ襟の抜き加減からすると、やっぱり「素人」ではないと直感した。  
(そんなのどうでも良いけど)(～～;) )

さ～て、そこからがまた面白かった！！

彼女の向かいの席・・・、つまり私の隣に座っていたおじいさん・・・、  
彼女が降り立ったとたんに、大急ぎで彼女が座っていた席にお引越し！！！！

きっと、わたしと同じ気持ちでぼ～～～っと憧れの目で見つめていたと思われ・・・。  
その席の「ぬくもり」を独り占めしたかったのだと確信する。

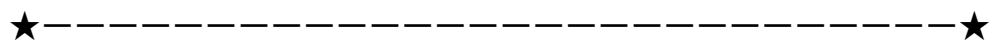
だって、その素早さときたら・・・！ ^m^

誰にも渡すものか・・・、この残り香を・・・、という勢い！

しっかり座った後の、「むふふ」という満足げな表情を見落さなかったぞ～！！ (^\_-)-☆

とうに70歳は過ぎているだろうおじいさんでも、やっぱり感じるのね！  
この美しさを・・・。

銀座線のひと



昨日に続き、「銀座線の女（ひと）」を描いてみた。

紫・華紺・黄色・ブルー・・・いろいろな色が大胆に描きこまれた生地ของツーピースをお召しのひと。

こんな目も覚めるような色をごった煮にしたようなインパクトのある生地で仕立てた洋服でも、それを下品にならない身のこなしで存在感を引き立てている。

だけど・・・、ゆるく首に纏ったスカーフも同系色の柄物・・・  
ってのはちょっと頂けないなあ・・・。

しかも！しかも！よく見ると、手に持つ高級な皮仕立てのバッグの  
蓋以外のところに、またまた紫とブルーと黄色の咲き乱れている花が  
描きこまれている！！！！！！（\*\_\*;

もしもし・・・。

このツーピースだけだったら、大胆だけれど着こなして  
他の追随を許さない程のインパクトで引き立って美しいと思う。

でもでも、ふわりと巻かれたスカーフは、無い方が好きだけど、  
もしどうしても・・・とお思いならば、無地で引き締めた方が  
よりすっきり素敵だと思う。

そして・・・、バッグ！

とても裕福なお方・・・というオーラが放たれている方なので、  
きっと「紺」か「紫」「白」等の無地のバッグをお持ちの筈。  
そんなスッキリ感を[演出](#)した方が洋服の柄が引き立つと思うんですけど・・・。

視線を下に降ろすと、靴まで洋服の柄の一つ「真っ黄色」！  
しかも、前だけ黒のコンビネーション！！！！

その一つ一つは、初夏の空気を鋭く煌めかせる実にイキイキとして

素敵なものなのだけど、その三位合体となると、  
これはもう・・・、本当に残念な結果になっていた・・・。

きっとお洋服のコーディネートをする時、  
「あら、このバッグの色が同系色だわ！素敵！」  
「あらら、スカーフもピッタリの色合いのものがあったわ！ラッキー」  
と、ご自身はきっと、完璧！！の気分でウキウキの  
「銀座線の女（ひと）」だった筈・・・。

う～ん・・・、でも、兎に角人目を引く程飛びぬけて  
美しかったこともホント・・・。

もしかして、こんな着こなしも「アリ」なのかもね！      (～\_～;)



ブランドおばあさま

★-----★

朝のラッシュが終った時間帯の電車の中。  
駅に着く度に、ひときわ寒い今日の寒さを避けるように温かい車中に  
転がるように入ってくる人たち。  
立つ人もまばらなどこかのんびりした風景。  
一渡り見回して、今日はウォッチングする種がなさそうだわ・・・と  
思っていたら、いらっさいました！！ うふ (^\_-)☆

とある駅から乗ってきて、ささ！と斜め前の席に座った女性。  
え・・・？ と思わずもういちど彼女に目が泳いだ・・・。  
何故かという、温かそうな彼女のコートがとてもユニークなのだ・・・。  
高級感あるグレーの無地はいいとして、信じられないような別布を  
あちこちに配したコート。

グレーに「人のコブシ」ほどの大きな白いドット（水玉）を織り込んだ生地を、  
アシンメトリーにあちこちの切り替えに挟み込み、  
今まで見たことが無い斬新なシルエット。

そっとお顔の方に視線を移す・・・。

これまたびっくり、私を遠く越した感じの年齢のご婦人。  
表現するには少し抵抗を感じる「肌つや」「形状」をモノトモセズ、  
目の上は真っ青！口は真っ赤！眉は触覚！ 一言でいうと、  
一心不乱に一時間は鏡の前で頑張ったことを想像させる念の入りのような  
お化粧・・・。

それはそれで「ご苦労様でした・・・」という思いがあるのだが、

私が気になったのが、口をもぐもぐぐちゃぐちゃしている【ガム】！！  
噛む度に「ホウレイ線」がくっきり掘れ、周囲の頬の筋肉が大活躍している  
のが手に取るように見て取れる・・・。

その、真っ赤に塗られた口で噛みまくったガムは、とうとう終点まで  
噛んでいましたよ。

苦くなっていないのかしら・・・？

既に美味しい筈が無く、何のメリットもないのに、顔面の皺という皺を  
ご披露するはめになっているのに気が付かないのね・・・。



お洒落なお洒落な（奇抜ともいう）コートに、高価そうな（わからんちな私  
だけど、高級感漂っているから多分ブランド品？）小さめのエンジ色の  
皮ボストンバッグ。  
右手の皮の手袋を取ってバッグからハンカチを取り出した・・・その指には！！

なんと、重そうな金の指輪が三本の指にギッシリ・・・、幾つ重なっているのやら・・・、まるでこぼれ落ちそうな程の重量が見て取れる。  
指は、真っ赤に燃えるような爪が綺麗に手当てされていて、お見事！  
ハンカチで、沖縄の海のようなブルーに彩られた目を拭いてバッグに戻して再度手袋をするが、例の指輪のボリュームが引っ掛かってなかなか指が入らない・・・。

程なくしてまた手袋をごそごとと取りさり、またまたハンカチを取り出す・・・。  
今度は口を横に曲げながら鼻の下を拭き、その手で何やら「**手品師**」のようなことをやり始めた。

ん・・・？ハンカチの隅を尖らせてしごいている・・・、  
あ、耳の穴に突っ込んだ！！  
ごしごしごし・・・。

片方が終わると、ハンカチの別の隅を探し出してそこを尖らせる**魔術師**を再開。  
そして、反対側の耳も　ごしごしごし・・・。  
それを交互に数回・・・。

ごしごし行為一回ごとに目の前に突き出して、耳〇を　ぱっぱっぱっと  
床下に落とす・・・。  
爪の真紅が生き物のようにしなやかに宙を舞う・・・。

何も、こんなところでやらなくてもお～！　　(+0+)

ほんっとにお洒落なコートをお召しだったから、不似合いな行動がいやに気になった私だった・・・。

あ、いや、これを読んで、もし「あれ、私のことを書いた？」と

お思いの方がいらしたら、違います！

あなた様はそのような行為は断じてなさらないもっと素敵な方に  
違いありませんから・・・。(～\_～;)

.

ちかごろの「手袋事情」

★-----★

いやはや、世の中びっくりすることだらけ。



昨日の車中で見つけた「ポケット付手袋」。

指先がカットされていて、いかにも使い勝手はよさそうなのだけど、  
手袋の「甲」の部分に、小さなポッケがついているのが不思議・・・。

手の甲を温かくするため・・・？それとも、「スイカ」や「切符」を  
収納して置く為・・・？と、いろいろ思いを巡らせたけど、  
結局分からなかった。

若い男性が、何だか小さな「リュック」を背負っているようで、

ちょっと見微笑ましい・・・。

という話を、[食事](#)に行った折に孫（2）に話したら、わははわははと大笑い！

あれはポケではなく、指を使わない時に、クルリと回して

指先を包む為に付いているんですって！おくさん！！（～～;）

若い男性が、あんな可愛いポケ付の手袋をしているなんて、

なんて可愛いのだろうと思った私が悪かった・・・。



そして、ふと車中を見回すと、わ！こんな可愛い猫ちゃんの手袋が目に入って来た。

ふわふわに編みこまれた真っ白な可愛い手袋。

高校生のお嬢さんが、首から両手に紐を回して、こんな可愛い手袋をしていた。



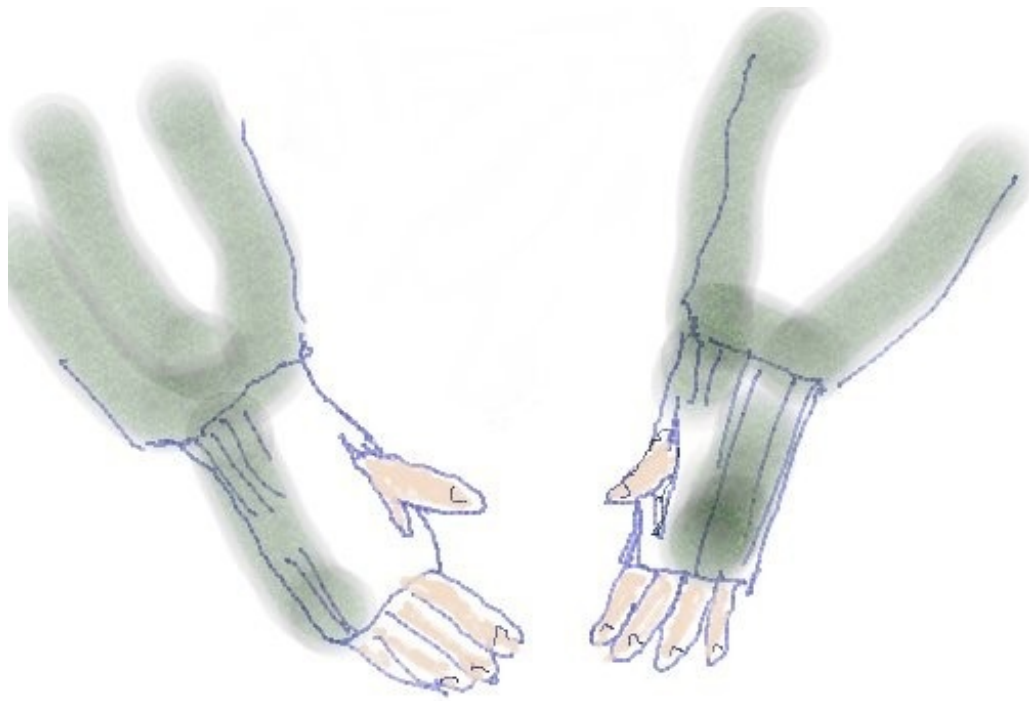
・・・でも、よく見ると・・・、何とまあ・・・、  
親指を入れるところが下あごで、ぱっか～ん！と真っ赤な大口が開く仕掛け。  
まるで「お神楽」か「お獅子」。

笑わせて頂きました・・・。

きっと、「御神楽」さんに手を突っ込んで、ぱっかん！ぱっかん！と真っ赤な口を開けて楽しむ  
のでしょうね。

――

などと、二階のお食事（およばれ）時に話題にしたら、孫娘が「うふふ、おばあちゃん、こ  
れも・・・」と笑いながら手を差し出した。



電車の中で見た手袋のことでびっくりしていたら、  
今日、我が家の身近でこんな物を見つけた！！  
何気なく孫の手を見たら、あれれえ～！、こんな事になっていた！！... ↑  
手首のニットの一部分に切り込みが入っていて、そこから親指を出して着るのだそうだ  
これで携帯・・・じゃなかった、何て言うんだっけ・・・？すい！すい！とするやつ！  
あれを操作するのに便利なんだった！！... (^-)-☆  
修学旅行先のカナダで買ってきたものだそう・・・。

いやはや、おばあちゃんにはびっくりすることばかりじゃわい！！、( ͡° ͜° ͡° )

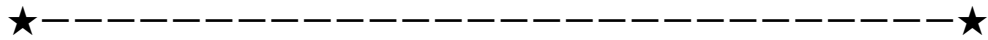
あらあ・・・、これは便利！！

世の中、どんどん面白いことになっているのを実感！

わたしゃ、年を取ったものじゃわい・・・。

.

一本の白髪で



日暮里に向かう電車の中で、前の席に清々しい女学生が座っていた。

お化粧っけもなく、何と清々しい二人だろう・・・。

二人は、こんな感じで顔を見合わせながら、静かに楽しそうにお話している。

右側のお嬢さんの横顔がとても神秘的で、輝く珊瑚のよう・・・。

わたしにもこんな時代があったのだわ（若さだけは）・・・と見惚れていると、画面右のピンクのぼかしお嬢さんがやおら例の「鏡」を取り出してお化粧のショーを始めた。（-\_-）　　ちっ！！

あまりにも目障りだったので、画像は「ぼかし」でしかえし……。 (≧▽≦)

延々とお化粧をして別人28号になったところで、携帯をやり始めた。

・・・と、何が切っ掛けかは見落としたが、左の女学生二人が  
何やらピンクと話しをしている。  
お知り合いではなさそうだけど・・・。

そして、ピンクぼかし嬢の髪の毛を引っ張って、  
ぱらりと何かを探している様子。  
・・・、あった！！  
「白髪」の長～～いのが一本！

ピンクが「抜いて頂戴」かなにか言ったらしく、  
女学生がその白髪を引っ張るも、そこは流石の白髪くん！、  
抜かれてたまるか・・・という風情でなかなか抜けない。

三人がかりでやっと抜けた長い白髪・・・。

自分の分身を手にしたピンクは、白く輝く長く見事な白髪を  
びょーんと両手で伸ばし、しばしみとれていた。

さ～て、、この白髪をどのように始末するだろうか・・・？  
と興味津々でちら見している私。

数秒後、・・・

おっとお～！！ やっぱり想像通り足元にそっと捨てやがった！！  
(あ、お捨てになりました) (-\_-)

あんなに20分も頑張ってお化粧したのに、  
お隣の女学生の輝く肌に負けたピンク。

お二方！貴女方は、お化粧をしないでこのままの美しさを継続して下さいね・・・  
と願うばかり。

たは・・・、まるで自分に言い聞かせているような・・・。  
私だって、こんな「皺の中にお化粧品を塗り込んで」いるような  
今の自分が情けない・・・。

でも、これをしないと、もっと「おばけえ～」状態なので仕方ない！  
シミ・ソバカス・小じわ・・・等々を隠さないと（隠したつもり）人様の前には出れない  
自分・・・。

あ～あ、これでも昔は「さすがお肌が白いわね」と、新潟出身と言うと  
必ずついてくる褒め言葉——— いや、お世辞を言われていた自分・・・。

仕方ないのね・・・、年を取るということは、そういう事なんだから・・・。

ピンクの華やかなオーバー・丹念なお化粧20分・・・。  
なのに・・・、白髪一本で「人生の悲哀」を何倍にも感じさせてくれた  
ピンクさんのドラマだった。

### 私が「サマーヤーン」を編むのを辞めた理由

★-----★

このところの私は、恥も外聞も無く、電車に乗ると「優先席」を目がけてまっしぐら。

今日も勿論汗を拭き拭きドッコイショとばかりに座り込んでいた。

ふと見ると、私と同年代のご婦人が二人、優先席には見向きもしないで出入り口に立って居る。





空席があるのにもったいない～～！ と私の心。

その二人、お互いがお召しのニットの「[ちゃんちゃんこ](#)」（・・・？何て言ったらいいのかしら・・・、あ、ベストだ！）を引っ張ったり目を近づけたり、[編み物](#)の技術の品評会のような風情。

「サマーヤーン 講習会」か何かの[教室](#)にご一緒に通っているような会話。

難しい編み込みのその作品（？）をお召しになって、さぞ心楽しくうれしいひと時なのだろうなあ・・・と、微笑ましく拝見していた。

一つ申し上げれば、海老茶の作品は、ブラウスが下からはみ出ない長さにする為に、もう5cm長くするか、チョッキ風に思い切ってもっと短くするか・・・。

[茶色](#)の方の作品は、もう少しゆとりを持たせれば背中丸みがむき出しにならなくて済むのに・・・。

・・・などと勝手に品評会。

実は私も、体型を隠す為に・・・と、黒のサマーヤーンを購入していた・・・。  
どんな模様編みにしようか・・・？などと、こころうきうきして・・・。

・  
・  
・

だけど、・・・作るのは辞めた。（～～メ）

（何故か？・・・なぜでも・・・） （謎） （\*\_\*;



鳩杖

★-----★

千駄ヶ谷からの帰りの車中での出来事。  
丁度「年寄り席」が空いたので一番端（扉側）に座ってほっと一息。  
この頃は、恥も外聞も無く座りたくなる・・・。（～～;）

次の駅で対面の座席の一個が空いたが、乗り込んできた老紳士が  
よろよろとその空間に座った。  
危なっかしい足取りのその紳士の手には、アノ「鳩杖」が  
しっかりと握られていた。

先日、家人のかっての勤務先から80歳（数えで）になると贈られる  
習わしの「鳩杖」が届いた。

それで「鳩杖」というものを知った訳だが、その紳士はその鳩杖が  
無くては歩けない位の気配・・・。

電車が動き出し、ふと前の席のその紳士に目をやると、何やら  
私の近辺が気になる気配。

何か言いたげな表情を、見るともなく見ていたが、  
「やだ！まさか私の顔のベル麻痺に気が付いた・・・？」とか、  
「もしかして、私の服装がオカシイ・・・？」とか、  
「えっ、やだ！ 私に見惚れている・・・？」とか（えへ！これはウソ！）  
・・・、何となく落ち着かない。

★

・・・！！！！と！！！！

にゅ～！！っとその「鳩杖」の握りの部分が私の目の前に！  
「えっ、なにになに？！」とのけぞる私の目の前で、  
力なく宙を彷徨う【鳩】・・・。  
紳士よ！気は確かか・・・？とびっくりして目を上げると、  
中腰になってはあはあぜーぜーのおぼつかない足を踏ん張って  
腰を浮かせている！！



ぎゃ！ な・なにを血迷っていらっしゃる～～！  
と叫びそうになったとたん、  
その杖の「鳩」ちゃんが、到着すべきところ・・・つまり、  
【隣との境の扉の取っ手】に届いて、紳士が全身の力で杖を引っ張って  
戸を閉めているところだった・・・。

・・・つまり、開いていた「戸」を閉めたかったのだった・・・。  
誰かが開けっ放しにして隣の車両に移動して、私の席側に開け放した扉の

取っ手が来ていたのだ。

閉めてくれ！という「ワシ」の願望を気配で察してくれよお＝！  
と目線ビームを送っていたのに、私は全然気が付かなかったのね。

その視線を・・「私に気があるう・・？」などと・・(^O^)/  
きゃ！　きゃ！きゃ！　　ふふふふ

全身全霊の力で扉を鳩杖の取っ手で引っかけてぐぐぐぐ×××っつと引き寄せ、  
その後息も荒くシートに身を沈め、ふうふういいながら目を閉じている紳士。

ごめんなさい〜〜〜〜・・・・・、気が付きませんで・・・・・。（～～;)

.

「ロココ婦人」

★-----★

さてさて、またまたびっくり！ひっくり返りそうな「リボン大好き婦人」を見つけちゃった！

(/・ω・)/



ふわりと乗っていらした、私世代のおばあ様。



くるりと出口の方を向いてお立ちになった後ろ姿は、まるで「竹下夢二」の世界。

ほっそりとなびくウェストに大きな大きなリボンを結び、しなやかな生地が美しく垂れる。

帽子を斜めに被り、ふわりとシルクのオーガンジーの色鮮やかなショールを緩やかに巻いて、そこに首を埋め・・・、腕には白いレースのロング手袋、それにはシャーリングが施され、サテンの白い小さなリボンが上から下までず～～っと4～5個ついていて・・・。

後ろ姿だけ見ていると、「高原のお嬢様」！！の風情。

時々横を向くと、帽子の下に覗く頬が「たらしん～♪」とこれまた  
シャーリング風に見えるのが、チト残念！

それにしてもお見事な少女趣味。

お持ちの手提げにも、白いサテンの小さなリボンが・・・、5～6個。

ドレスの前のデザインがどんなものかしら・・・と見ていたら、丁度クルリと前を向かれた。

わ！わ！わ！

胸の両脇から「シャーリング」の嵐！

袖も両方から湧き出るようなシャーリングが重なり、まるで  
「緞帳の襞」のよう・・・。

もう、まるで、目の前に「ロ可可時代」が再現されたような風情・・・。

お顔さえ拝見しなければ（！！）、まるで本当に「高原の風に揺れる少女」のよう。  
リボン攻めの努力の甲斐もあって、若々しく初々しい雰囲気漂う。

昨日の記事のように、首の後ろに小さな黒縮緬のリボンを結ぶだけで  
「少女お～！」的にわくわくしていた私。

な～んだ、私ももう少し若ぶりを頑張ってもいいんだぁ・・・！！ ( ^O^ )／  
（良くない　良くない　ヤメテくで～！）

円形・・・

---

円形・・・

★-----★



今日は、義妹達とランチの後、一人で日暮里まで生地を買いに行くことになっていた。

念入りに「ウィッグ」を装着し、三面鏡でしっかり確認して出かけた私。

(～～)

食事も終わり、さて日暮里へ・・・。

乗り込んだ電車の中でふと前を見ると、扉に向かって立つお嬢さんがいた。

膝より上にくる「ロングブーツ」の後ろ姿に目がいき、

歩いたり座ったりした時にブーツが邪魔にならないのかなぁ・・・

などと無粋な思いを持ちながら目が上の方に・・・。

ミニスカートが可愛い・・・。

首にはふわふわのボアが温かそうにまかれて・・・。

・・・・・・・・ん？・・・・・・・・

そこで見ただのです！！

ごめんなさい、こんなことを書くのは失礼かもしれないのですが、  
このことで身が縮む思いをしている私が描くのですからお許しを・・・。

私が今一番悩んでいる「円形○○」が、うら若き彼女の髪の  
頂点のみならず、周辺に幾つか見受けられるのです・・・！

お洒落ないでたちからは想像も出来なかった事実、  
凍りついたようになりました！

じーっと扉の外を見ていた彼女は、一度も振り返らずに、  
とある駅に降り立っていきました。  
多分、美しい可愛い御嬢さんだったと想像しています。

でも、ん～～～ん・・・、「頑張ってね！」と心の中で彼女につぶやく事  
しかできない私。

それにしても、今の世の中、精巧なウィッグなどが安価で手に入る  
でしょうに、自然に任せてそのままの姿で外出出来る強靱な  
心の持ち主なのかもしれない。

私など、「１９８００円也」の部分ウィッグをすぐさまweb通販で  
買ってしまったけど・・・。

何だか、同病相哀れむ・・・の境地で暫く胸が熱くなっていた。

★

じつは・・・

今から半年程前、久しぶりに美容室でパーマをかけていた時、

「あれ？！ 頭の後ろに【傷】がありますよ！ 」

とびっくりしたような美容師クンの声に「あら？洗髪の時引っ搔いたかしら」と私。

「いいえ、そういう傷とは違います！」ときっぱりと彼。

何だか嫌な予感がして、何が違うの？とも聞かずにそのまま作業が進み、  
帰宅したのだった。

「そういうのとは違う傷です」という言葉が何となく気になってはいたが、  
そのままに時は過ぎ、「あれ？おばあちゃん(家人は私をそう呼びます！)、  
ちょっと後ろを向いてみて・・・、  
何だか頭の地肌が見える部分があるよ！！」との言葉に、  
その美容師クンの

「違う傷」という言葉が荒々しく甦ったのだった。

ドキドキしながら三面鏡で見ると、ううっ！ 出来ていたのです～～！！  
につっき「円形〇〇」が・・・！ (；\_；)  
しかも、重複して・・・。

私の場合はそんな経緯があったので、もしかして、  
そのお嬢さんも自分で見えない場所なだけに、知らないでいるのかも・・・  
とも思ったりして。

美容師クンがそうであったように、  
気がついて直接口にしない場合があるのかもしれない。

それは、思いやりなのかしらね・・・。  
う～ん、難しい・・・。

ウィッグは、使い方によっては本当に悲しいことになる。

知人の場合、ある会にそれを装着していらした事があった。

有名なウィッグ専門店の方に自宅に出張して貰い、  
100万円でオーダーして作ったとのこと、それが実に残念な結果だったのだ。  
誰かに言われたらしく、それ以来一度も装着しているのを見かけない・・・。

先日電車の中で見かけたお年寄りも、まるで「カッパのお皿」のように  
色が違うウィッグを天辺にちょこんと載せていらした。  
うう・・・、悲しいぞ・・・。

それにしても電車の中のお嬢さん！ 頑張ってるね！  
一日も早いご快癒を祈っていますよ！

ちなみに、私の症状の原因は、  
20年前に施術した甲状腺腫瘍の摘出による「ホルモン療法」  
の薬の微妙な適量差が生じた結果・・・らしい。

主治医と相談の上、少し薬を減量して貰うことで取り敢えず現状維持。

悲しいぞ・・・。

でも、この歳なんだから悲観しないで頑張る！ (\*\_\*)

うら若きあのお嬢さんのその後を祈ろう・・・。



### 横文字の暗記

★-----★



車中ウォッチングは、見ているその瞬間が面白いのであって、後で話したり書いたりしてもちっとも感動が伝わらないものだ。

だから、外出から帰ったらその日の内にぱぱっと書かないと「賞味期限切れ」状態。

(~\_~;)

ところが、外出すると疲れてしまい、なかなかじっくりと書き留めておけないのが難・・・。

それにしても人間って、本当に素敵な人が多く、ふとした心の動きを見せてくれるのが楽しい。

外出先への30分程の道のりが楽しくて仕方ない。

いつも「見て見ぬ振りの目付き」できよろきよろ。(~\_~;)

鼻眼鏡のおじさん・・・。

立っている私の目の前に座って、何やらぶつぶつ言いながら紙にすらすら書き込んでいる。

時々薄目を閉じて天井を向き、唇だけでもごもごと動かして、ペンを持った手で時々おでこをピンと打ったりしながら。

「競馬の予想」にしてはちょっと様子が違うな・・・と膝の上の本をそっと覗いてみると、うわ！

黄色とピンクと緑の蛍光色ペンのラインでびっしり彩られた「横文字」の本だった！

しかも、既に何十回何百回と繰られて手垢で薄汚れたよれよれ感漂う本！

何語が書いてあるのかは覗きこむのも失礼だし、見えてもロシア語か英語かフランス語かドイツ語かは判別出来ない私だけれど、「横文字」だということだけは確か！

髪を感じからするともう55歳はとうに過ぎていらっしゃると推察出来る方が、一枚の紙切れにすらすらと赤のボールペンで英語（だと思う）の単語を書き続ける。

失礼ながら、お召しのジャケットはそんな風景には似つかわしくない「作業着風」・・・。

目を白黒して宇宙を見つめ、一生懸命暗記しているお顔は真剣そのもの。

しかも、書きつけている一枚の紙には、最初に「赤ボールペン」、それがびっちり埋まると、ペンを切り替えて「紺色」にしてその上から上書き。

一枚の紙切れは四隅がめくれているから始発駅当りから長時間書いていらしゃった模様。

しかも、裏も「赤と紺」の単語がびっしり・・・！！！！

いやぁ・・・、感動！

真剣に真剣に寸暇を惜しんで外国語を勉強しているおじさんに拍手～！！！！

そして、紙の独特の節約方法にも拍手～！！！！

## 「謎」のセリフ

---

「私は嘘は言っておりません！・・・「謎」のセリフ

★-----★

とある駅から乗ってきた女性が、入り口近くに座る私の前に立った。

背を丸め、いかにも疲れ果てたような吐息を吐くさまは、私と同じか  
ちょっと上の年齢の方だろうと推察したが、とても疲れた様子だったので、  
席を譲った方が良いかな・・・？と一瞬迷った。

・・・と、ふと左を見た彼女が突然動きだした！

つつつつ～！

足・腰もすっきり伸びて、立っている人を華麗に避けながら、  
軽やかに左の方に移動するさまは、先ほどの疲れ果てた老人とは  
とても思えない見事な身の捌き方！（+o+）

おやおや・・・と目で追った私。

・・・ざんねん！

そのすばやい華麗な動きは、見つけた左の「空き席」をめがけての  
行動だったようなのに、一瞬の誤差で先客にゲットされた模様・・・。

「う＝、残念！」という感じで膝を折り、ガクッと首を反らせた姿が  
遠くで見えた瞬間、他の男性と重なって、それきり私の視覚から消えた。

先日、「スケートの選手になった気分」だけで腰痛になってしまった、  
間抜けな私。

同じ位の年齢の女性に「お席を譲ろうとした」行為を自分で笑った！！  
もう！　自分では彼女より「若い」つもりなんだからあ・・・！　　^m^

★-----★

さて・・・

★ 次の駅から乗ってきたお洒落なおばあさん。  
この方はどう見ても私よりお年を召していらっしゃる・・・。

黒のコートに黒のスカート（ズボンじゃない！）、黒のストッキングにヒールのある（！）靴。  
髪を美しく結い上げて、上品さが漂う。

よろりとバーに縋った様子に、前に座っていた若者がすっと立ち上がり席を譲る。  
「あら！ありがとうございます。助かります。どうもありがとうございます・・・」と何回もお  
辞儀をしながら席に座るさまも、美しい。

キリリと口角を結び、弓のような眉も「良いとこのおばあさん」風情。  
若者よ！ 席を譲ってくれてありがとう・・・。  
先ほどのこともあり、私もちょっとほっとした。

程なく、何処からか「私は嘘は言っておりません！嘘ではありません！本当に嘘は言っており  
ません！ 誰にお聞きになってもいいです。嘘は言ってません！！！」ときっぱりした大き  
な声がし、周りがシーンとしている。

びっくりしてそちらに目をやると、その主は例の「良いとこ風のおばあさん」。

赤い携帯をしっかりと握り、きりりとしゃべっている。  
「私は嘘は言いません」を数回繰り返して・・・。

電話していると、思わず大きな声を出していることに気が付かないのか、  
そのイメージからはとても考えられない力強い内容の「反撃」を繰り返す。

電話を終わり、何事もなかったように携帯をバッグにしまうと、  
代わりにバッグの中をごそごとと手探りして取り出したのが、  
「メンソレータム」の丸い缶。  
そう、直径4 c m程の、看護婦さんが印刷されている・・・。  
懐かしい～！（^o^）

先ほどの「力強い反撃」のセリフにシーンとしていた周囲も  
ほっと息をゆるめた感じ。

ご本人は澄ました顔で何も無かった様子で蓋を開け、少しすくって  
左手に載せ、それを右手で目の周りに丁寧にくるくると摺り込んでいる・・・。

周りにさわやかなス〜とした香りが漂う。

えっ・・・？ 目・目にい〜？・・・**すかすか**しないのお〜〜！？ (@\_@;)

残りを唇と額に丁寧にすりすり、 ついでに手に揉み込んで終わり。

普通、顔に塗るなら「**桃の花**」でしょうが・・・。（ 古！）



そして、日暮里で乗り換えエスカレーターに向かう彼女の

颯爽とした威勢の良い歩き方は、やはり気丈な「嘘は言ってません！」のセリフが似合うおばあさんだった！

誰にも負けない速さでエスカレーターにすすっと跳び乗り、遥かかなたの高さへと登っていく後姿を見て思った。

「日本の老人（女性）は、健在なり！」

それにしても、何の「嘘」を否定し続けたのだろう・・・。

【謎】 だなぁ・・・





### ボタンホール

★-----★

昨日の記事の「テーラー」の鈴木さん⇒  
(<http://d.hatena.ne.jp/retoto/20131209/p1>)

がパリへの進出の第一歩にした事と言えば、小さな生地  
【ボタンホールを数種類】を丁寧に手作業でかがったものを  
校長先生に送って見てもらうことだったそうだ。

それを校長先生は今でも保存していて、テレビで見せてくれた。

細かく、一分の隙もなくかがった素晴らしい「ボタンホール」を見て、  
彼の優秀さを悟り、その後何くれとなく力になってくれたとか。

★

その「ボタンホール」を見ていて、先日の「車中」のことを思い出した。



座っている私の目の前に立ったご婦人のコートを何気なく見ていると、  
ん・・・？

これって、バックスキンでできているよね・・・と気が付いた。

お召しのコートは、紫の花模様を染めた今どき見たことが無いような材質。

そして、またまた面白い発見！

つまり、ボタンホールが、昔の婦人の高級服には絶対に欠かせなかった  
「バイヤス仕立て」のもの。

このボタンホールは、バイヤスの共布でホールの両脇を細く縁取りをするので、

実に細かい作業が求められる。

洋服を作る上で一番細かい仕事なので、この出来栄えが腕の見せ所・・・  
と言える大事な部分。

今は、婦人物でも殆どが機械で糸ががりしたボタンホールになっていて、  
こんなバイヤス布でくるんだボタンホールの洋服などほとんど見かけなくなっていた。

まるで[骨董品](#)を見るような想いで懐かしくなってしまった！  
ふと見ると、ボタンも共布で作った大きなクルミボタン。

おっとお～～～！！！！

そのクルミボタンが、良い感じに擦り切れる寸前までに使い込まれていた～～！！！！

そう・・・、彼女は多分私より少し上の方でいらっしゃるご様子だけど、  
きっと、昔・昔、大奮発をしてお誂えでお作りになった[一張羅](#)  
（・・・ではないかもしれないけど）を、今もこうして大事にお召しになって  
いらっしゃるのね・・・！

その「大事に着る」ことの嬉しさ、楽しさを再発見したのだった。

丁度私も昔、グレー紫のバックスキンのオーバーを縫ったことがあった。  
大好きで随分着ただけけれど、いかんせん、このドスコイ体型には勝てず、  
ゆとりの融通が利かないデザインだったこともあり、  
とっくの昔に廃棄の運命をたどらせたのだった。

今こうしてあの時代（だと思う）のオーバーを大事に大事に着ていらっしゃる  
目の前のご婦人。

いいなあ・・・。

・・・と、古いものを大切に着こなしていらっしゃる彼女のバッグに目が行き、「・・・・・・・・」  
わお！

それこそ「目が点」！！！！

グレーのポシェットのようなバッグに・・・、可愛い色とりどりの  
「ぞうさん」が行列していた！！！！

クラシックなバックスキンの紫の花模様のコートに、アニメ風な  
「ぞうさん」の行列！！！！ のポシェット！

わ～ん、このアンバランスさは、どうしたものだろう・・・・・・・・。（\*\_\*；

私的には、頭がパニック！！

つけまつげ

★-----★

先日乗った電車の中で、前に立ったお嬢さん。

今はやりの付け睫毛を自分なりにカット調整したらしく、前の方ほうんと短く、  
両端に向かってだんだん長く・・・に切ったと思われ・・・。

こんな感じの睫毛になっていた。      ↓



これはこれで可愛いんだけど、何だかなあ・・・。

そこで思い出した！！

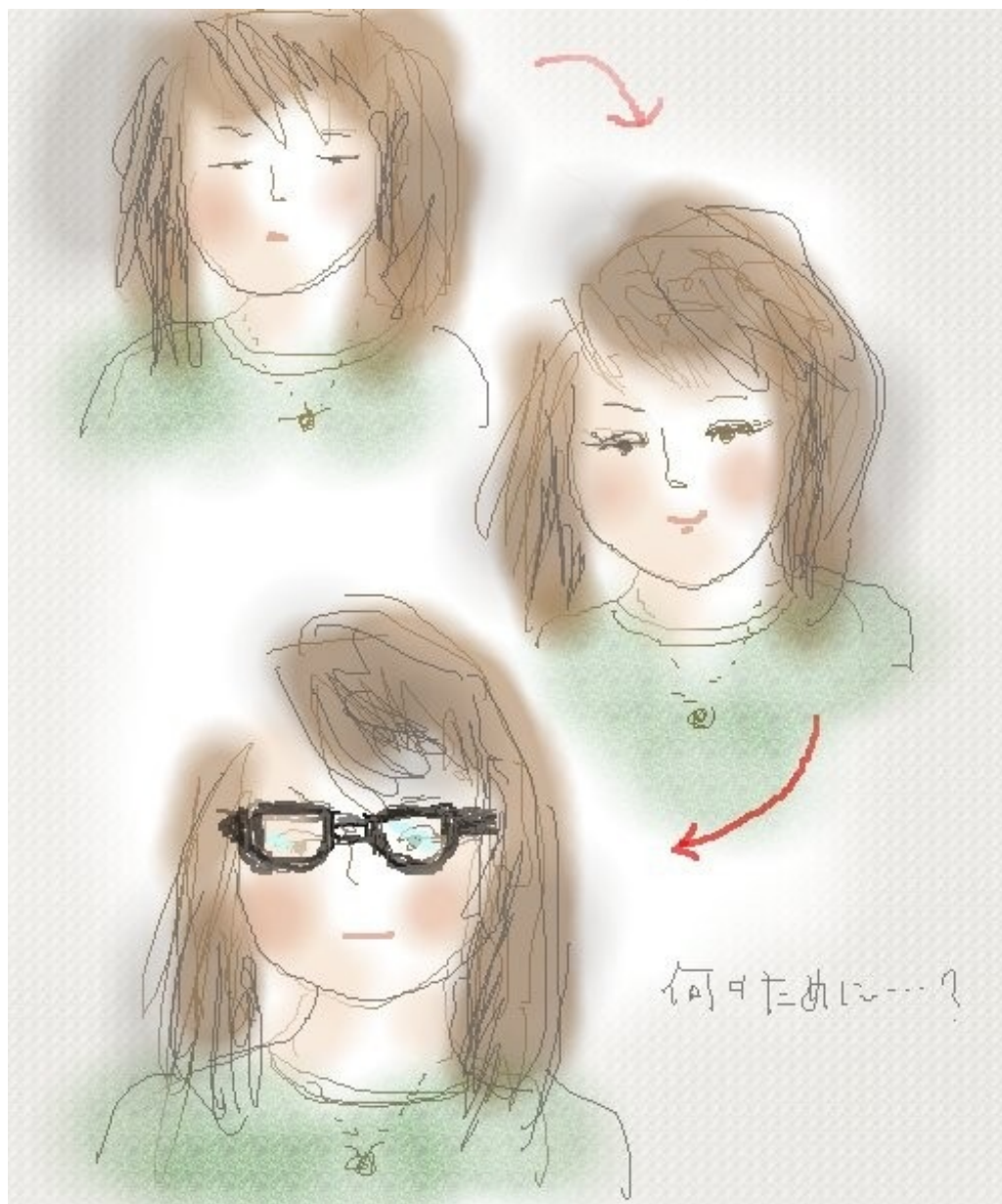
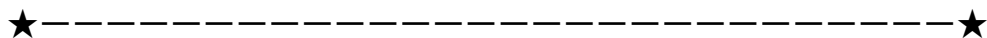
ルリちゃんの睫毛！！





おもわず「くすり」と顔がほころんでしまった！！

魔法の液体



今日は朝から「日暮里探検隊」出動！

[芸大](#)で例年行われる「[コンチェルト](#)オーディション」を突破し、  
栄誉あるオーケストラと協演（芸大奏楽堂にて）の舞台を展開することになった  
方の晴れのドレスを作ることになっていて、生地選びに出かけたのだ。  
小雨模様だったお天気も、出かける頃には少し晴れ間も出ていた。

日暮里に向かう電車の中で、同じ並びの右三人目に座った若い女性が、

大きなバッグから何かごそごそと取り出すのが目に入った。

あ、またお化粧が始まるのね・・・と、見るとも無く見ていると、[あやや](#)、  
何だか少し様子が違う。

鏡を見ながら、小さな細い容器から取り出した細い筆状のもので瞼の上を  
塗り始めた。

厚ぼったい一重の目が眠そう・・・。

瞼の上あたりに白い液体を何回も塗りつけ、そのままあごを突き出して  
目を細く（もともと細い）し、バッグから手探りで携帯を取り出して  
メールを打ち始めた。

あくまでも目を細くし、半とじの状態で携帯を目の前ぎりぎりにかざして  
打っている。

多分近眼でいらっしゃるご様子。

両の瞼の上に白い液体を付けたままでメールを・・・ってのは実に不思議な光景。

気が付けば、瞼の白い液体が透明になっている。

そうだ、時間稼ぎで携帯を打っていたのね・・・。<sup>^</sup>\_<sup>^</sup>;

さて、そそくさと携帯をしまい、目は半とじのまま、手探りしてバッグから  
取り出したものは・・・。

ややっ！ 5 c m程の細い棒！

それを目に突き刺した！ あ、いや、厚ぼったい瞼の、目に近い部分から  
突き刺したのだ！ そして数秒・・・。じっと身動き無し・・・。

棒を取り外した！ うわ！なんじゃこら！ 数秒前には被さるほど  
膨れていた瞼が、見事な「二重」になっている！！！！

次は右。

今度はもうびっくりしないぞ！

何度も何度も「これでもか」と言う感じで念を入れて繰り返し二重の溝を  
深くする作業で「目を突き刺す」（ように見える）行為を繰り返す。

棒を外す毎に、鏡を目に付けてじっくり眺め回し、「ふむふむ」  
状態でうなづく・・・。

おやや、ちゃ～～～んとぱっちりお目目の出来上がり～～～！。

さて今度は小さな櫛を取り出し、やっと露出した「睫」を丹念に梳る。  
それからは皆様お馴染みコースに入る。[マスカラ](#)でぱっちり黒々と塗り上げ、  
[アイシャドー](#)を入れ、まあまあ、先ほどとは信じられないようなお目目の  
出来上がり！

その作業毎に、分厚い下唇（人のことは言えないけど）をぬっつと突き出し、  
気合が入っているのが見て取れる。

さ～て、これからがサプライズの頂点！

何と、やおらバッグから取り出したもの・・・！それは「黒ぶち眼鏡」！  
あれだけ大騒ぎをして二重にしたお目目が、がつつり黒で囲った細い眼鏡の縁で  
しっかりと消えてしまった。　　(^^ゞ  
なんでええ～～～！??

それにしても、あの液体はなんじゃろう・・・。

私も欲しい・・・！！　（うそ）



ぱか～ん！

---

ぱか～ん ！！！！

★-----★



さて六本木に出陣！

と汗を拭き拭き電車に乗り、座席にどっこいしょと座る。

ふと前を見ると、動き出した電車の振動で、小さなペットボトルがコロリコロリと転がり出した。

誰かが捨てていったものらしい。

「グレープフルーツジュース」の表示があるボトルは六角形なので、

時々コロリと向きを変えては、アチラへ行ったりこちらへ来たり・・・。

まったく！誰が捨てたのだ！と怒りが込み上げる。

平気でゴミをポイ！と捨てるヤカラがいるが、そのゴミが自然に消えて無くなるとでも思っているのだろうか・・・と、いつも思う。

もお！（一一;）

と・・・、カツカツと靴音を響かせて女性がやってきた。

そして、**その尖った靴先で「ばか～ん！」と「グレープフルーツ」のボトルを蹴飛ばした！**

勿論わざとでないことは見ていて分かったが、その音と感触で蹴飛ばしたことは気が付いた筈なのに、お澄まし顔で「わたしゃしりましえ～ん」とばかりに通り過ぎて行き、スマートな仕草で[シルバーシート](#)に身を預けて足を組む。

そこで分かったこと。

50は越しているらしいその女性のスタイルと洋服のセンスは私好み。  
シルバーグレーの無地の細身[ワンピース](#)は年齢に似合わず綺麗に決まっている！  
手に持ったサンバイザーも同じシルバーグレー、問題の「ばか～～ん！」と蹴飛ばした靴も同じシルバーで決めて、一寸のほころびもない見事なセンス・・・。

ネックレスも濃い目の同じ色合いの[ビーズ](#)で。

首から上を見ないようにすれば（ごめん！）、実にセンス良いご趣味のご婦人。

だけどなあ・・・、あの音「バカ～ン！」と、あの澄まし顔の通過さえ無ければなあ・・・。

その時、次の駅から乗り込んできた熟年の夫婦が座席を取ろうとしてうろうろしているうち、おやじさんが同じく「ばか～ん！」とやってしまった！

そのおやじさん、「おっとおお！」という顔で振り向いて、でも、



極まり悪そうな顔をしてこそこそと通過して行った。

そのうちそのボトルは、カラリ　カラリと[通路](#)を漂って、とあるおじさんの足元に転げて行き、座席の下に蹴りいれられてしまった。

そこまではシカと確認していたのだが、降りる時に持ち出して捨てようと思ったら、あんれ！無い！  
おじさんの座席の下に蹴りこまれた筈のボトルが無くなっている・・・！

何処へ行ってしまったものやら・・・！  
狐につままれたような顔でホームに降り立った私。

一人のお馬鹿さんによって、少なくとも4人が迷惑したものだ！  
（シルバークレーのドレスのご婦人も含めて・・・。絶対気分は悪かったと思う。  
折角「決めた！」という自信に満ちた出発だったはずなのだから・・・）  
そして、もしかして黙って拾って捨ててくれた人がもう一人関わっていたのかも。

捨てたゴミは、絶対に「自然消滅」はしないですよ！　　ぶん！

自分のことを一番知らないのは自分

---

自分のことを一番知らないのは自分

★-----★

今日は「日暮里探検隊出動日」。

11月の[ピアノ](#)リサイタルでお召しのドレス生地を探しに。

私の最寄駅のプラットフォームで、「[デッサン会](#)」のお仲間（男）に  
ばったりお会いした。

「あら、お久しぶりです。お出かけですか？」  
（このフレーズって、ちょっと馬鹿っぽいけど、  
便利なんですよネ・・・  
出かけて来たからこそここでお会いしているのに・・・）

「ええ、歯医者さんまで」

・・・から始まって、彼が長寿大学を卒業して、  
今度はその上の県立の長寿大学に入るつもりだ・・・  
との話に発展したところで電車が来た。

乗り込んだら、[車両端の両側に一つずつ空席があったので](#)、  
それぞれにお別れして座った。

次の駅に着いた時、私の隣の若者がすっと立ち、「どうぞ」と  
先ほどの絵の仲間を私の隣にいざなう・・・。

「へっ??・・・」という感じの目で若者を見送り、  
彼が腰を曲げたまま私の隣にとことこと移動・・・。

いつの間にか若者の姿は見えなくなっていた。



「うふふ、きっと私達のことを夫婦だと思って  
気を利かせたのですね」と私。

「いやいや、光栄です！」と頭を掻く彼。

勿論、ギャグだということは一目瞭然！！ ( ^O^ )／

体積・容積からして考えられないし、(\*´艸`)

絶対彼の方がず～～っと年が上だと思う・・・、というか、  
私の半分かと思えるような「骨川筋衛門」の肉体保持者で、  
見るからにおじいさん（ごめん、よく考えれば私も見るからに  
おばあさんだった・・・）。

まさか夫婦には見えませんわよお・・・。

ところが、話しているうちに、**デッサン教室**でのイメージとかけ離れた日常を送っていらっしゃることが少しずつ分かってきた・・・。

「デッサン教室の他に【ダンス】をやっているってねえ、長寿大学の方もあって、なかなかデッサン教室にいけないんですよ」

「今、**ダンス教室**では【タンゴ】をやっているね、そのお相手が、太った女性で・・・、あ、あなたより少し細いかな？・・・、（！？）

タンゴってのは、クッと首を反らしたり足裁きもシャッ!としなくてはいけないのに、その太った女性の動作がゆっくりで参っているんですよ。

**太った人にはダンスは無理ですね。（なぬ？）**

**男性の足と足の間に女性をクッと挟んでステップを展開**  
しなくてはいけないのに・・・うんぬんかんぬん・・・」

「息子と二世帯住宅で住もうか・・・という話になったことがあったのですが、家内が【嫁姑】問題を心配して反対したものだから、息子が別に家を建てて、今では嫁の母親と息子**一家**が二世帯で住んでいるんですよ・・・。

そうになると、私たち夫婦は置き去り状態で、**小学生の孫**は、おばあちゃんと言えばあちらの親を指す感じですよ」

―――

ちなみに、我が孫の「No.1君」は成人している・・・。

次から次へとお話なされる言葉から、「あれ？もしかして、  
この方は思っている程**ご老人**ではないのかな・・・？」と思いだし、  
「Aさんは何年生まれですか？」とお聞きしてみた。

「〇〇年です」・・・え～～っ？！      **私と同じ！**  
よく聞けば、私より何ヶ月もお若い！      うっそお～～！  
(00)；

先の

-----

「うふふ、きっと私達のことを夫婦だと思ったのですね」と私。  
「いやいや、光栄です！」と頭を掻く彼。

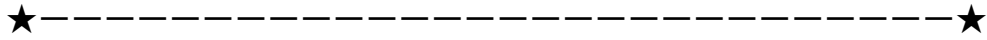
-----

の会話は、「**まさかあ？！**」の確信から出た言葉。  
てっきり、80歳は出ていらっしやると思い込んだの冗談だったのに・・・。

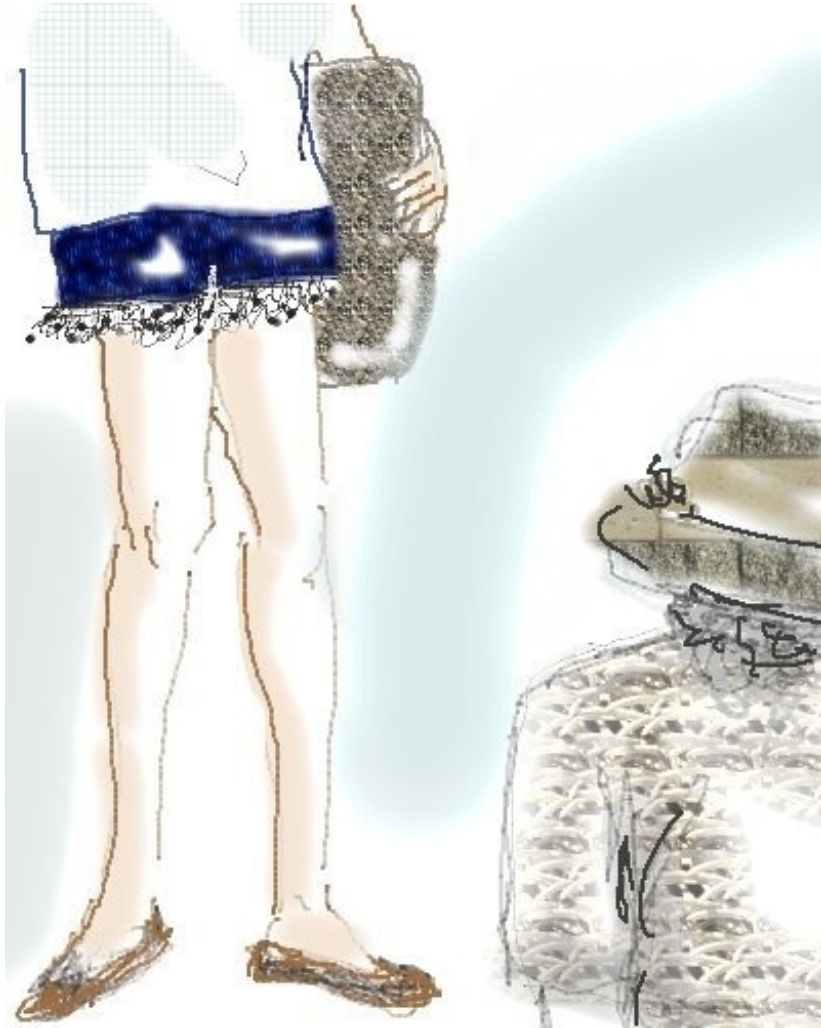
いやん！ 私の方が年寄りだったなんて・・・！      ぎゃお

かくして、「自分のことを一番知らないのは自分」という事を見事に知ったのだった。

ミスマッチ ？



車中でぼんやり座っている私の前に立った女性・・・。  
ん？・・・短くきりりと履いた切りっぱなしのジーンズの半パンツの裾に、  
黒いレースが取り付けられている。



ジーンズの半パンの、切りっぱなしが解けかかったようなところに、  
黒々と黒いレースが付いているのは、何だかとても違和感があったので、  
目を徐々に上の方に持って行くと、荒いざらしの綿の白いシャツをお召しだ。

そのまた上の方に目を上げると、わ！！ 袖口を細く切ってフリンジにした、  
面白いデザインのシャツ！



まるで、[ロックンローラー](#)が着るように、フリンジがびろびろと垂れ下がっている！  
袖付けのあたりには、がっちりとした鉾の装飾がダン！ ダン！ ダン！！  
と打ち込まれて勇ましい・・・。



そして・・・、またまた上の方に目を移すと！！！！

わわわ、いままでの数秒間のイメージ映像を全て打ち砕くような  
「エレガント」なお帽子が目に入って来た。

[オーガンジー](#)を三重に重ねたウェーブの美しい白いお帽子・・・！



こんなアンバランスなお召し方でも、何故かあまり変ではなかった  
というのも面白い。

でも・・・、でも・・・、私だったらきっと、こんな↓



このお帽子だったら、こんな「高原のお嬢様」！！！！  
こんな着方しか想像できないだろう・・・。  
今の人は、面白い展開が苦もなく出来るのだろうか・・・。

古いぞ！ 私の洋服のセンス！！ ( ^\_- ) ☆



お歳頃の心得

★-----★



1)

私よりちょっぴりお年を召していらっしゃる風情の女性。  
髪の毛が、その年齢の方々のご多分に漏れず地肌が丸見えの薄さなのに、  
前の毛をきっちり「乙女」の様に引っ張りおろしてスプレーでカチカチに  
固めて垂らしていらっしゃる・・・。  
そこだけは「譲れませんぞ」という**気概**に満ちているのが何だか  
ちょっと悲しい・・・。

かくいうわたくしメも、只今家を出る前にしっかりと「スプレー」で固めて  
車中の人になっているのが、一層悲しい・・・。

2)

そうこうする内に、ある駅から乗ってきた女性が、対面の私にも聞こえそうな掛け声（ふんが！）で空いた席にどっし〜〜んと座った。

うわ！

「どすこい」を誇る私でもびっくりする程の「どすこい×2」状態の女性・・・。

あれま・・・、ジャケットのボタンがはち切れそう・・・、  
あれ？ お腹の辺のボタンが止められなかったらしく、  
そこだけカエルの口のように「ぱっくり」空いているぞ！ （+\_+）  
しかも、今流行りの生成りのガーゼのスカーフのフリンジ部分が  
ビラビラと見えている・・・。

あのね・・・、お節介を言うようですが、確かにボタンが苦しい時は  
ありますよ・・・。ご同輩・・・。

でも、そういう時は、いっそ全部のボタンを明け放ち、ふわりと  
「引っかけているだけ！」風を装った方がいいのですよ！（^^ゞ  
そうすれば、「お腹のボタンが止まらなかった」悲劇も、  
ちょっとしたお洒落になってしまうのですよ・・・。

それに、ジャケットの袖を捲って、下から紫色のセーターの袖口を  
出していますが、それもお辞めになった方が・・・。  
只でさえ短く見えるモリっとした腕がますます短くみえますよ・・・。

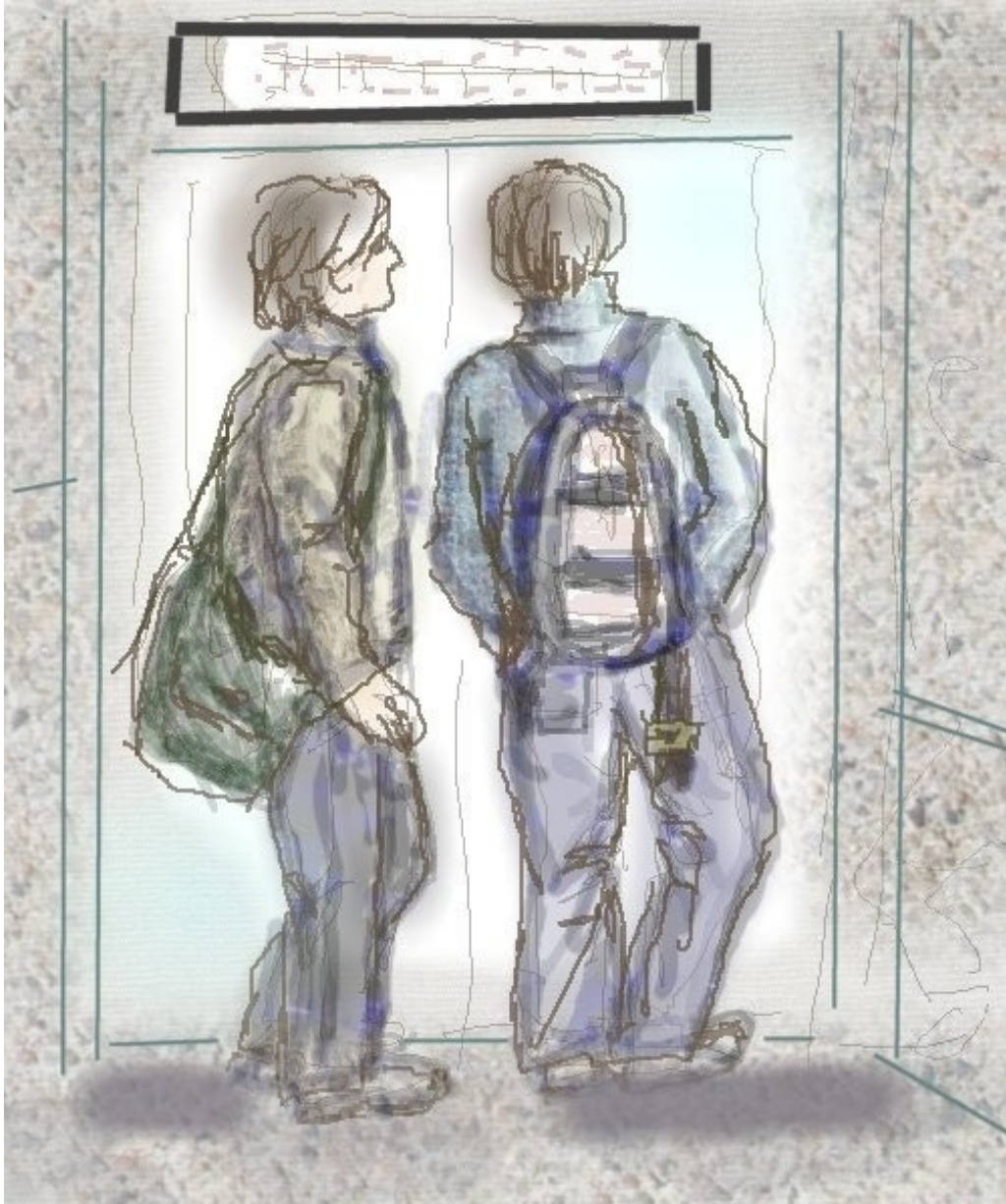
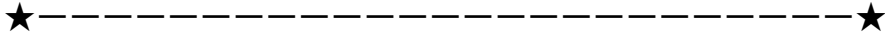
つい、要らないお節介を考えてしまうワタクシメ！

それより、自分の服装は・・・？ （/・ω・）/

しまぶくろ・・・？

---

しまぶくろ？



5月晴れ・・・の素晴らしいお天気。  
コンサートに向かう山手線の車中で座っていた私。

ドアの近くに立って居る若者二人。  
楽しそうな会話がそれとなく聞こえてくる。

履いているジーンズの「皺」がとてもいい感じだったので、心の中でデッサン。



お尻近くまで下げたリュックも何となくしっくり。  
右にリュックから下がった黒い紐がゆらゆらしているのがまた良い。

と・・・、何気なく二人を見ていたら、一人が「駅の表示板」を指さして言った。  
「ふふ！　しまぶくろ！！」  
「あ、ほんとだ！　　しまぶくろ！！」  
二人で　ぶはは！と大笑い。

池袋　＝　しまぶくろ・・・？

ちょっと首を傾げながら思った。  
「きっと、しまぶくろ君が[共通](#)の友人なのね・・・。  
しまぶくろ・・・って、  
沖縄地方に良くあるお名前だけど、もしかしてそちらから？」

ぼんやり考えていたら、その「しまぶく・・・」じゃない・・・池袋で、  
笑いあいながら二人が降りて行った。

爽やかな印象の二人。  
しまぶくろ君によろしく！！　　(～\_～;)

「優先席」のA・B・Cさん

★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・★

毎度の事ながら、ホームで電車を待つのは「優先席」の指定がある場所のドア近辺。 (^.^ゞ

乗り込んだ「優先席」は6席とも一杯だったので、仕方なく吊革につかまって何気なく席を見下ろすと・・・、前の席はこんな感じの人たちが座っていた・・・。



では、まず【A】の方から・・・。

（ごめんなさいね、退屈なものでついウォッチングをしてしまいますう・・・）

★ A

ハンチング帽（ワニのマークが付いた）を被り、何やらアイフォンを操っている50～60代のおじさん。

はたと目についたのが、顔全体を覆っているマスクの色・・・！

消し炭色・・・（古いたとえですね・・・！ 年齢がわかってしまう・・・）。

マスクと言えば「白」と相場が決まっていると思い込んでいる私。

あ、もしかして、「消臭の為に炭を織り込んだ生地」で出来ている新式なのかも・・・。

でも、端から見えている「裏」は普通の白い生地なので、

装着方法を間違えているとか・・・？

表面が白で、裏が消し炭入り生地とか・・・？

ま、いいや、そんなことはどうでも・・・。

でも、ワニが赤い口をわっと開けている例のブランドマークのハンチングと、ジャケットの襟をびゃっ！と立ち上げている着方と、消し炭色のマスクが一体となって、何だか面白いムードが漂う「優先席」ではあった。

★ B

真ん中に座っている青年。「優先席」なのに・・・。（^^ゞ

ちらっと目が合った・・・。

とたんに、「あ、厚化粧のおばあが前に立った！マズイ！」と

いわんばかりに、ぎゅっと目を閉じると、あれま！  
急に居眠りを始めた！！  
しかも、「あからさま」に大きく身体を前に横に・・・。

そんなぁ・・・。

もしかして、熱が有って病院へ行くところかもしれないし、  
見えない部分に怪我をしているのかもしれないし、  
いくらドスこい体型でも、まさか妊娠している訳でもない  
だろうから、体調が悪い人は「優先席」に座っていて良いのよ・・・。

わたしゃこう見えても、六本木位までなら立っていても  
ぜ～～んぜん平気なんだから・・・！

でも、こうもあからさまに目の前でゆらゆらこっくんこっくん  
されると、何だか前に立っているのが申し訳なくなってくる。

べつに～！ そんなに座ってきたいのなら、おばさん（おばあさん）  
を気にしなくていいのよ～！！！！（^^ゞ

★ C

青年の隣に、ちまっと収まっているおばあ様・・・。

全然身じろぎをしないで、「お[地藏](#)様」化している。

お召しのコートも、きっちりと、ハンガーから外してそのまま  
身体に乗つけたように[清廉潔白](#)！！

お靴もきっちり揃えて、清々しいというか、なんというか・・・。

こういう「お地蔵」さんのような方でも、激情の青春時代を  
通り抜けて来た過去があるのでしょうか、その方の周りには、  
「有り難い」ようなすわ～～～んとした清い空気が漂っていたぞ・・・。

人それぞれ、其々の過去があって現在がある・・・。  
その、奥深い歴史を想像するのも楽しい。

私だってえ～！ 今はこんな「どすこい」で悲惨なおばあさんだけど、  
ウェスト58cm・・・な～んていう時代もあったのよ。  
「あなたに一目ぼれしました！一生この美味しそうにわしわし  
食べる姿を見ていたい！」とプロポーズして下さった方も  
いらしたのだから！（自慢じゃないが・・・）(\*\_\*)

勿論、我が家人ではないですよ・・・。（^^ゞ

ま、そういうわけで、私にもそういう過去があって、  
目の前に立っている「どすこいおばあちゃん」が出来上がった  
という訳なんだけどね・・・。

だけど、気にしないでいいのよ、ボクちゃん。  
「席を譲って頂戴！」などとは言わないから、安心して！

だから、そんな大きな[ゼスチャー](#)の「ゆらゆら・こくこく」は  
必要ないのよ・・・！！（～～;)

・・・って・・・、やっぱり「**優先席**」こだわっているじゃん・・・。





ピン一本で・・・

---

## 車中ウォッチング（髪編）

★-----★

[神宮](#)からの帰りの電車の中。

銀座線のトアル駅から乗ってきた日本の女性と赤毛の外国人。

向かいに一つだけ空いていた座席にどうぞどうぞ！と日本女性を座らせて楽しそうにお話をしている。

「そうそう・・・」とか、ちょっとした日本語を交えながら楽しそうに・・・。

今まで見たことが無いような「赤い毛」が、ふさふさと肩に掛かってちょっと暑そう・・・。



・・・、と、両手でちょこちょこっと髪を集めて、きゅるっと巻きながら、  
一瞬でこんな髪に形を変えてしまった！！



うっそ～！！

本当に、一瞬の出来事だったので、なにをどうしたのかを観察しそびれた！！  
残念！

でも、あの豊富な髪を、指先だけで纏めたことだけは確か・・・！  
まるで手品を見るような気分。

たくしあげ損なった幾筋かの髪が肩や首筋に掛かり、それがまた何とも言えない

色っぽさ！

参った！！

ちなみに、憧れて描いていた「婦人像」の素材はこのページに！！ ↓

<http://www.ream.ais.ne.jp/~meme/hu-puro.htm>



☆

昔、外国映画などで見たシーン、同じように金髪をかき上げて  
「ピン」一本で止める仕草。  
それがとても素敵で、憧れていたことがあった。

そして、あるシーンでは、その一本の「ピン」を取り去り、ふわりふっさりと肩にウェーブがなだれ落ちる瞬間、首を振ってそれを流す仕草・・・！

あ～、憧れていた！！

でも、その頃の私はと言えば、直毛で沢山あった黒髪にはそんな仕草は叶わず、どんなに持ち上げても、するりドサリと落ちて、ガンジガラメにピンを沢山刺さないと髪は上げられなかった。

ところが・・・、最近の、加齢や諸事情（！！）からくる「薄毛」効果で、ピン一本でも巻き上げられる昨今・・・。

ち～～～～っともうれしくない！！ (一\_一)!!

.

入れ歯遊び

★-----★

「ベル麻痺」からの生還（！？）で、やっと人並みの顔を取り戻した一昨日、生地さがしの用があって二か月ぶりの日暮里へ・・・。

取り敢えず「人並み」になった顔で、人波の中へ出た。

顔面麻痺にかかるなんて考えもしなかった私。

緊急入院で「ステロイド」をガンガン点滴でいれて7日間・・・。

先生に呼ばれて診察を受ける為に外来で待っていたら、可愛い小さな女の子が、じ~~~~~！と私の顔を見たまま動かない。 そんなぁ・・・。(≧▽≦)

何でも、その女の子は、何かを耳の奥に突っ込んで取れなくなったので外来に来ているとか・・・。

そんな大変な自分の状況も顧みず、私の「変な顔」を「じ~~~~~！」

-----

さて、そんな「変顔」もひと段落し、日暮里へと向かった・・・。(\*\_\*)

さてさて・・・電車の中、さぁ、車中ウォッチング・・・。

あれ？、目の前にもおかしい顔のおじさんが・・・！！ ↓

まず目に飛び込んできたおじさんの「歯」！！！！

ん？？？と思わず目を剥いたその数秒後、今度は反対側に「にゅっ！！」

な～んだ、退屈凌ぎに「入れ歯遊び」をしてたのね、おじさんったら～！！

自分の「変顔」だけでもびっくりしているのに、おじさんまでえ~~~~！？





びっくりさせないで～～！！ おじさん～！

でも、下の入れ歯を舌で右・左・・・に転がしながら、目はしっかり携帯に・・・。  
やめてえ～！

日暮里探検隊出動の電車の中・・・で、例によって30分はウォッチング時間。

さて・・・と周囲を見回すと、直感で「あ、この人」と思える人が必ず見つかるのがうれしい。

今日は久しぶりに男性。斜め前に座っている55・6才の・・・。

丁度いい具合の混みよう。

例によって、景色を見るような遠い目で前を見ながらの観察はスリルがある！

洒落た茶色の半そでシャツに[ボタンダウン](#)の襟。

一糸乱れずオールバックに固めた髪は、歳からするとしっかりある方だろう・・・。

ちょっとのっぺりした伊達男風のお顔に、縁なし眼鏡がキラリ・・・！

ずず～いと下の方に視線を落とすと、白地にグレーの細かい[タータンチェック](#)のズボンの裾は夏服なのに「ダブル」！

その、多分ウールのウールたる欠点である「自分で洗濯できない素材」を無視したかのような風情がみて取れる。

つまり、自分で洗濯すると、どんなにしっかりアイロンを掛けても、どこかバリ！と仕上がらないものだ。

折角、今時稀な「裾ダブル」なんだから、バリっとクリーニングに出しましよ  
うよ・・・。

夏に「極薄のウール」を履く心意気は認めます！　!(^^)!

お、扇子を取り出した！

男子が扇子・・・！やりますねえ・・・。

ばっ！と広げた大き目の扇子の模様が、「さ～すがぁ！伊達男！」

つまり、同じ幅の三色の半円がすっきりくっきり描かれていて、一番上がシャツの色と同色！

真ん中が白で、一番下がズボンと同じ渋いグレー・・・。

それを、「しゃっ！」という手つきで広げ、さささささと扇いで、しゅっ！としまう。

その手品師のような手さばきもさすがのもの。

何をやっても「伊達男おおお～！」状態。

暫く扇子の手品を拝見していたら、退屈してきたのか、あくびを・・・。

おお！？と見ていると、小さな薄目の上品な口元が開き、　わお！　両口端を思いっきり上にあげ、盛大な盛大なあくびをおおお！

全体の「伊達男」イメージとは程遠い大胆さ、覗いた上の門歯が可愛かったぞ！

私って、完成されたイメージが少し「ホコロブ」のを見るのが好き。

だから、「伊達男のあくびと可愛い門歯」はとても楽しかった！！　(^\_-)-☆

暑い夏の横須賀線。

ある駅から乗ってきたカップル二人が前の席に座った。

まず目に付いたのが、男性の靴。

蛇皮で覆った甲の部分が「キザ」！

その目線を上に持っていくと、サングラスで目は見えないがなかなかの美男子。

４５がらみ？

ちょっと小太りが「難」だけれど、口角がちょっと上がった口元を摺り寄せて彼女の耳元で何かをささやいている。

女性も嬉しそうに目を見つめあったりしていたが、暫くしてふと気が付くと、何やら雲行きがあやしい会話に発展しているような気配。

口を尖らした女性（３５くらい？）の台詞が断片的に聞こえてくる・・・。

「だってさ～！この間だって私のことを・・・・・・・・どうしたこうした・・・」

「会社で〇〇子さんとばかり仲良く話しをしていたから、

私が邪魔なのかと思って席を外したのよお・・・・・・・・どうしたこうした・・・」

女性の声がだんだん大きくなって今にも何かを喚きそうになった時、

蛇皮君が薄い唇に手をあてて、「し～～～っ！」とささやいて、きょろりと周囲を見回す。

そして、優しくそんな仕草で彼女の茶色く染めた髪を撫で撫でして気持ちを落ち着かせ、そっと肩を抱き寄せる。

それでも口を尖らしてぶつぶつ言う彼女の唇に「ちゅっ！ちゅっ！」

髪の毛を「いいこいいこ」・・・・・・・・。

さすがの彼女も、そうまでされたらすっかり高ぶった気持ちも萎えたらしく、今度は男性の腕にしっかりと抱きつき、肩に頭をのっけて目をつぶる。

年齢がにじみ出ている二重顎が茶髪の下で見え隠れ・・・。

そのままじ～～～～っとしがみついて動かなくなった彼女を肩にしたまま、男性の

所在なさそうな様子が可笑しい。

最初、自由が利く方の手の指でピアノを弾く仕草をしていたが、それでも寝た（ふり！）彼女はしがみついたまま微動だにしない。

仕方なく、彼女の茶髪を撫でたり、ぐしゃぐしゃにかき回したりし、それでも起きない・・・となると、今度は「貧乏揺すり」を始めた。

「蛇皮」の靴を強くトントンと踏んだり、足を組んだり・・・。  
でも寝た（ふり）ままの二重顎（ごめんなさい）の女性。

絶対あんなに大げさな「貧乏揺すり」をされたら、普通なら起きるに決まっているのに、

催眠術に掛ったように微動だにしない女性は、ますます体重を預けてきて、まるで抱擁のような姿勢にまでだらしなく寄りかかっている。

見ると、男性は「ピアノ」の手や「貧乏揺すり」で何とか時間を潰してはいるが、「えい！」と押し戻すような行動は決してしない・・・というところがさすが「色男」！

とうとう東京駅に着き、私達は降りなければ・・・。

ホームに降りてからもちょっと気になって振り返ってみたら、男性がすっと席を立ち、女性が振り乱した茶髪のまま呆然と見上げているのが窓越しに見え、照明のほの明るい電車がするすると視界からいなくなった・・・。

彼の我慢も「東京駅」までだったのだろう。

男女のしがらみの、何と複雑なこと・・・。

二人は同じ職場のようだったが、オアトがどうなるのかは蛇皮君の力量で・・・。

隣にいる私の家人が「見た目はナンだけど、こんな人柄」でよかった・・・！と、つくづく思いながら帰途に着いたことだった。



お出かけの帰りの車中で、トイメンに座っていた外人・・・。

[ハンマー投げ](#)の室伏さんのような髭がちょっといかつい。

目が圧倒的に大きい事と、二重が正にくっきりと二本平行にくびれていることと、白目の部分が真っ白なことに感動しながら、見るともなく見ていたら、・・・、あら！　びりりり・・・と携帯呼び出し音が・・・。

黒い鞆をまさぐって取り出した携帯を開くと、「あ、もしもし・・・、はいそうです。・・・あの、その件につきまして」などと綺麗な日本語でおしゃべりし始めたと思ったら、つい！と席を立ち、携帯を手で覆いながら腰を低くして乗降口に行き、「今電車の中ですので、後で[こちら](#)からかけ直します、ちょっとお待ちください」と、それはそれは綺麗な日本語でおしゃべり。

自分の席に着いたと思ったら、・・・、ん？・・・トイメンの一番端に座っている私の傍の「消火器」近辺をきょろきょろしながら見ている。

大きな身体を、上下、左右に揺らしながら、真剣に何か探している。



え～～？！！

消火器に、何でそんなに気を取られているんだろう・・・。

先ほどの携帯のおしゃべりといい、マナーといい、乗車口に行く時に鞆を座席に置きっぱなしだったとこといい、日本に長く住んでいる方とお見受けするのに、「消火器」が何でそんなに珍しいのかしら・・・。

・・・、と・・・！！！！

その二重目さんが、腰を浮かせたと思うと、トイメンの私の隣の席（空いていた）に引っ越しをして来たではあ～りませんか！！

な・な・・・・なんと！！！！

勿論、私は客観的には「澄ました顔」で座っていたが、神経は左隣の「新規引っ越し人」の動作の一挙手一頭足（あれ？この字でいいのかな？）にびりびり・・・。

何やら、屈みこんで「消火器」周辺を前にも増して真剣に探りを入れている・・・！（\*\_\*；

そして！ 例の携帯電話を取り出すと、充電器を差し込んだではありませんかあ～！！

な～んだ！

消化器の周りには、そんな設備が付いていたのね・・・。

日本人でありながら、全然知らなかった！

あっぱれ！ 二重目の外人さん！

## 衣替えの季節

---

信じられない速さで季節は逃げていく。

押入れはまだ「夏」バージョン・・・。何とかしなくては。

- 先日の小旅行が丁度10月1日の衣替えの日だったので、車中ウォッチングは「衣替え」ネタでいこうと車中を見回すと、わ！素晴らしくぴったりこんのご老人を見つけた。



乗換え駅までの30分間をたっぴりとウォッチングさせていただく事に。

(^\_-)

- お洋服はしっかりと「秋色」にコーディネート。茶色に統一した色合わせはきっといろいろ考えた結果・・・ね？。

でも、お帽子も素敵な茶色なのは良いけれど、[パナマ](#)かな？しっかりと張った編み目の夏バージョン。そこだけすけすけで薄寒い感じ。

下に視線を移すと、ヘムの上げが目立つベージュのおズボン（パンツというにはちょっと抵抗がある？）から見えるお靴が、真っ白なズック。

一番上の帽子と一番下のお靴が「夏バージョン」・・・という設定がいかにも衣替えの10月

1日・・・。

● と・・・。

大きな袋から、何やら取り出した。

ハンカチ。薄紫のハンカチの一角を持つと、ハッシと振って、見事にバイヤスの対角線を作り、それを首に巻き始めた。

あごを持ち上げた時、見た・・・食い込んだ黒い顎紐を。

そうだよなあ・・・。どうもおかしいと思ったんだあ・・・。

だって、首の上にどこかから持ってきたようにくっきたるんだ顎がのっかっているんだもの。

おまけに、さっきのハンカチを首に無理やり回し、顎の下で片結び。

やっところさ結べる長さなので、小さな小さな結びが顎の下で窮屈そうに収まる。

きっと首周りが10月の空気を感じたのね・・・。( ^\_-)-☆

でも、ますます顎と首の境目がくっきりと・・・。いやん

彼女一人だけで、10月1日の空気と心の動きと行事の全てが完結。

絵が下手でごめんなさいね、おばあさん・・・。( >\_< )

人はみかけに・・・

---

電車がある駅に到着すると、わいわいと人の波が吸い込まれてくる。

昼下がり、買い物帰りの人だろうか三々五々それなりの位置へ・・・。

私の隣に座った二人連れ。

男性はW杯の審判長のようなおつむ。それに、白地にグリーンの民族柄の長目のシャツ姿。

女性は・・・紫色の華やかなシャツに白いパンツ。

頃は45歳前後？

透けるつばのある帽子の女性。お二人とも黒々としたサングラス。

そう・・・。ここまで書けばお察しのように、どうみても「〇〇組」に所属しているあねさんとだんな風。

なにやら楽しそうに会話が途切れない。

と・・・。ある駅に近づくと、審判長がツと立ち上がり、手を差し伸べた。

きらり光る白い歯。やさしさと愛しさを瞳にほのともして、「さぁ・・・」と右手を差し出して促す。

見ると、反対の手に涼しげな可愛いバッグを下げている。しかも、紫のスカーフがひらり結んであるもの・・・。

うれしそうに差し出された手につかまり、「よっこらしょ！」と立ち上がる紫おばさん。

私より素晴らしい(?) 体躯。

ころころと審判長の手につかまりながらホームに消えて行った。

手を差し出した時の審判長の微笑みと、愛溢れるまなざし・・・。(あ、この時はサングラスを取っていたのね)

それに呼応して、うれしさを巨体に滲み出しながら付いていった紫おばさん。

いいなあ・・・いいなあ・・・。

最初の「おわっ」という姿勢が、自分で恥ずかしくなったことでした。

人は見掛けで決めてはいけないのね・・・。

わいわいがやがやと電車の扉あたりにさざめいていた高校生の一団。

松戸でさっと人が降りて座席が空いたので、私の**向かいの席**に3人座る。

今流行りの「小顔」のかわいこちゃん達。

ミニの襷スカートの足を広げて、うっ・・・ばか！見えるだろうが・・・。

足を付けて座りなさい！

目が合ったら教えてあげようとMEMEおば（あ）さんはじっと彼女の顔をみているが、全然気が付いてくれない。

私の隣にはうら若き男性が・・・。

慌ててちらりとみると、「わたしゃ見えてません」とばかりに下を向いている。

もう！

**普段パンツ姿が多い為、足を広げて座る事に何の抵抗も無くなっているのだろうか・・・。**

いやん！また見えてる・・・。もう！

はらはらドキドキしていると、中の一人が何やらカバンの中からびろ～ん！と白いものを取り出した！

なに？これ！

白いなが～い物体2本。

1メートル以上もあるかと思う靴下だ！

これがあの「ルーズソックス」というものの使用前の姿か・・・。

と・・・。

今まで履いていたハイソックスを脱いで、その「殿中でござる」のようななが～いソックスに履き替え始めた。

わっ！

またまた凄すぎる・・・。目のやり場がない風景がそこに出現したのであった！

もう！どうしてくれよう・・・。

目にリキを入れて念力をだしているMEMEには全然気付かず・・・。

隣のわかもんは？どうしてる？・・・と盗み見をする。

あ、本を取り出して読み始めた・・・ほっ。

もう片方も同じように履き出す。

ひえ！またまたちらちらと・・・。ばか！

なが〜い靴下を襞襞にして膝から下に収めると、あんな物体がちゃんと見慣れた「ルーズソックス」に変身するのも見事だ。

（感心しているばやいか！）

となりの若もんは・・・？

一層深ぶかと本に顔を擦り付けて・・・。

一通りの履き替えが終わったところで柏駅に。

何事も無かったように高校生達はさざめきながら「靴下の女」と共にホームに降り立って行った。

ほ〜〜っ・・・。

隣の若もんと共に、深いため息をついたことでした！

やれやれ、イマドキの高校生は・・・。ふう・・・。

MEMEおば（あ）の命が1年3ヶ月縮まった出来事でした。



梅雨寒で、この季節なのに長袖を着用している方が目に付く。

ラッシュが終わった電車の中、座った私の右斜め前に立つご婦人もオレンジ色のニットレースをお召しだ。

駆け込んでくるなり荷物を荷台に上げ、両手を「イチニのサン」と親指から広げたり折ったり熱心に指の体操を始めた。

それが済むと今度は肩を左右にゆすり、柔軟体操。

おまけに、首を前後に曲げだした。

後ろに立っていた若いお嬢さんの鼻のあたりに、体操女史のもじゃもじゃ髪が遠慮も無く襲い掛かる。のけぞるお嬢さん。

体操女史の、しっかとした清潔そうな装いといい、キリリとした潔癖感に支配された美しい顔立ちといい、縁無しメガネから見える涼しげな目といい、完璧な清潔好きの奥様風。

寸暇を惜しんでの彼女の自己鍛錬は、ぐーたらデブちゃんの私には耳が（目が）痛い風景。

と・・・

私の左隣の席の人が中腰になって降りるそぶり。

何気なく体操女史を見た瞬間、視線がバッチリ合ってしまった。

その時！

私ににっこり微笑みかけて来たではないですか！

えっ！えっ！えっ！

今までこっそり観察していた私の視線を知っていたのか・・・。ひえ！

どぎまぎしながら曖昧な表情でかわす私の目に映った彼女の行動・・・。

先ほど荷台に放り上げた黒い袋を慌てて引きおろしている・・・。  
ということは・・・。

そこで疑問解決！

彼女の「にっこり」は、私に左隣の席を確保してえ！という合図だったんだ！

気が付いた時は既に遅し。

体格満点の若い男性がどっこいしょ！と座席を揺らして座った後！

だって・・・。彼女は右の方に立っていたのだから、私の左隣の席まで辿り付くには、  
三人の人を乗り越えて来なくてははいけない・・・。

そんな理不尽があるでしょうか・・・。

当てにした空席が埋まるのを見ると、黒い袋をまた荷台に放り上げた女史。

その後の彼女の観察はもうストップ。

一度も振り返らないで目的地で降りたことでした。

それにしても、あれだけ熱心に自己鍛錬運動をしていたら、何人もの人を乗り越えた空  
席確保など必要ないと思うなあ・・・。

梅雨の晴れ間、野暮用でちょっとお出かけ。

息子に買って貰った高級運動靴（ウォーキングシューズ）を履いて颯爽とどたどたと車中の人に。

ふと見ると、前に座った若者の何と美しい顔立ちだこと！

私の半分位（まさか）の小顔に、きりりとした眉。ずっと下を向いて熱心に読書。

額にかかる短めの髪がかすかな影を落として、何とも言えないムード。

と・・・。プルルと携帯電話。腰のポッケから携帯電話を取り出してメールを読むが、眉一つ変化させないでそのまままたポッケに。

その時、初めて目を上げた。

わっ、涼しげな目！ 白目の部分が青みを帯びて、まだ成熟していない若芽のような・・・。

また直ぐに目を本に落として、無表情に読み進む。

ほんっとにかっこいいんだけど、読んでいる本に気がついてみたら、あれま、週刊漫画本。

でも、こんなに素敵な顔なんだから、何でも許す！（？）

孫のような若者に見とれていると、隣にドスンと座った男性が手提げからごそごそノートを取り出した。

背の高い30がらみの顎髭くん。ちょぼちょぼした髭とグリーンと紺のチェックのハンチングが何やら業界風。

ふと見ると、あれ？使い慣れた感じの手提げに、何やらアプリケが。

頭を後ろに反らして、彼の視界からなるべく遠い位置かたらよくよく見れば！ ふふ！隣の本人とソックリな髭のおじさんがウィスキーを捧げている図柄。

もしかして、恋人か奥さんが手刺繍で作った手提げかも。

良く見れば、提げ手の部分や周囲には可愛い花柄のキルティング。

う！こぼれ見えているストラップには「熊のぷ～さん」が覗いている。

鉛筆を取り出して何か書きはじめる。

ん・・・？ あれま、五線紙。

さらさら鉛筆の動きに目をやると、四分音符やら八分音符やらをシャッシャッと書いて、縦線をビュビュ！

目にも留まらぬ速さで五線紙を埋めて行く。

おお、それに合わせた重音まで書いているう・・・。

髭おじさん図柄の可愛いアプリケの手提げの上で踊る彼の魔法のような手。

ほのぼの「ミスマッチ」をしっかりと楽しんだウォッチングでした。

いったい彼はどういう人物だったのでしょうか・・・。

斜め前に座っていた女性、私もカナワヌどすこいさん。

日暮里駅に着いて、エスカレーターのある階段に遠回りする私と行動が同じだったことには笑ってしまった。

やっぱし！

今年もあとわずか・・・。

何となく慌ただしい気分は毎年のこと。

その割りにはちっとも年末のお掃除には手が付いていない。

今日はデッサン会最後の教室。

勉強の後は、ささやかな忘年会の予定。

重たいデッサン用具をえっさらほいと担ぎ、反対の肩にもイーゼルを担いで車中の人に。。

さすが年末。ウィークディの午前にしては結構込んでいる。

隣の駅から乗ってきた小さなおばあさま。年格好は80歳は過ぎていらっしゃるかな・・・？

ふと見ると、なんと！着易そうな紺色のオーバーの前身ごろに、可愛い小さな薔薇の花が刺繍してあり、それが袖口にもあしらってある。

袖口も丸い可愛い切り込みが入っていて、その部分に赤い薔薇が刺繍してあるのだ！  
良く見ると、前身ごろのあちこちにも配分良く赤い薔薇が散らしてある・・・。

お孫さんのオーバーの「おあがり（お下がりの反対）」にしてはあまりにもお背が小さいし。

おぐしはすっかり白く、少しの髪を黒いターバン風のニット帽に包んで、どう拝見してもやっぱり80歳に見えるおばあさま。

で！

ふと視線を襟元に落としてびっくり！

オーバーの小さな襟元に飾ってあるブローチが、「赤い可愛い靴下」からキラキラした宝石が溢れているデザイン！

サンタさんからのプレゼントのガラスの宝石達。

なんておしゃれなおばあさま！

その小さなお身体は、オーバーの上からでもしっかり年を感じられるスタイル。

でも、お心はいつまでも「サンタさんを待つ」少女なののでしょうか。

何だかとってもうれしくなってしまったことでした。

今日は結婚式に出席の為に主人とお出かけ。

いつに無く「厚化粧」で武装し、嫌いなストッキングを履き、さあ出発！

晴れてくれて良かった・・・。

敬老の日のためか、車中に立つ人は居ない。

次の駅から乗り込んできた20台最後の年恰好のご婦人が、私の席の遠い斜めの席に座るや、バッグの中をごそごそ。

化粧バッグを開いて、始めた始めた！例の「車中化粧」。

退屈も手伝って、最初から拝見する事に。

正に夢中で、他の方の視線など全く無視しての熱中振りなので、「さりげなく・・・見て見ぬふり」は必要ない。

正々堂々と見物出来る素敵なショー！

まず取り出したファンデーションらしきものを丁寧に丁寧に、顔にマンベンナク擦り込み、さあ、部分の調達。

あまり化粧に詳しくない私には、何をつかっているのか見当が付かないが、まあまあ・・・次から次へと何か取り出しては目の当たりに付けては何十回と無く刷り込んでいる。本当にしつこい位にいろんなものを目の周りにつけては手鏡を遠く・近くに操って、確認作業。

次は眉描き。これまたしつこく何十回と無くペンシルを操り、手鏡を遠く・近く・・・。

余程神経質な方と見えて、こちらも飽き飽きする程の念の入れよう。

（じゃ、見なければいいのに・・・。(～\_～;)）

さて頬紅が終わり、口紅に。

筆でまたまた丁寧に丁寧に・・・。ティッシュを加えて余分なものを押さえて、こちらは何とか完了。

と・・・。取り出した「毛抜き」で口の周りをチュクチュク。

こんな揺れる電車の中で毛抜きまでしなくてもお・・・。と啞然。

今度はいよいよメーンの「目」！

何やらいろいろ又付け巻くって、最後の仕上げの「マスカラ」付け！

顔を伸ばし、口まであぐりの演技をしながらまたまた何回も何回もマスカラを下から上に。



と・・・。あれま、もう「日暮里」！

という事は、既に30分は奮闘している事に！

（見ている私もご苦労なこと！）

日暮里を出発しても、まだ右目の作業が終わっていない・・・。

後3分ほどで上野終点！

さあ、私の方が落ち着かなくなってきた。

他のブショなら遣り掛けでもそう目立たないが、目の場合、右目だけ黒々マスカラはないでしょ・・・。

ここまでの工程でたっぷり30分掛かっているお化粧が、一番大事な「目」を3分で完了は不可能よねえ・・・。

どきどきしながら上野駅に到着。

この方の時間の使い方は、駅そばを食べていて、一番大事な海老天を最後に食べようと楽しみに残していたのに、発車のチャイムで、食べずに「後ろ髪引かれ組」状態で電車に駆け込むような・・・。

私が降りる時も、彼女はまだ座って口を開けて左目にマスカラを付けていた・・・。

きっと右と左の大きさが違って出来上がっているかも。

それにしても、左薬指にはちゃんとリングをしている彼女が、30分掛けて仕上げたお化粧顔はだれに見しょとて頑張ったのかな・・・？。

こんな妻の姿をご主人は知っているのかしら・・・。

「綺麗だよ」などと言って欲しくて30分頑張ったのかな・・・？

もしかしたら自分の為にかも。

いやはや、見ている私もしっかり疲れていた。（ばか）

それにしても、女の子を産まなくて良かったあ！

あの真剣な鬼気迫る一本勝負を、毎日毎日自分の顔を見ながらやるのだとしたら、毎日毎日「DNA恨み」で満たされるでしょう。

いやあ・・・恨まれなくて良かった！男子だけを二人生んで・・・。

はあ・・・。（深いため息）

わたしゃ、結婚式の晴れ舞台に出席の今日でも、お化粧時間は「5分」。  
ええええ、やり映えがしないお面相だからと言われれば反論はないですけどお！

このところ、コンサートが続く。

一枚一枚手作りでこつこつ作ったドレスの花舞台を確認する意味もあって、ご招待頂くコンサートをドキドキしながら拝見・拝聴に。

さて、今日もピアノリサイタルの会場に急ぐ私。

電車に乗り込み、いつものように「車中ウォッチング」を始めようかな・・・と向かいの席を何気なくみる。

頃は19歳位のかawaiiこちゃん。

陶器のような透明感のある肌、目だけのお化粧が涼しげ。

小さな可愛い唇がぽっと灰かに赤く、うっとり魅せられる初々しさ。

ふと、彼女から見た中年（以上！）女性の私へのウォッチングを書いてみたくなった。

以下は睫毛真っ黒な彼女の言葉。

~~~~~

あらら、汗噴出して乗って来た太っちょおばさん。見るからに暑くなりそう・・・。

ああいう女性にだけはなりたくないものだわ。

第一、食べる量が多いからこんなに太るんでしょうが・・・。

私だったら食事を少し残して「ごちそうさま」するわ！こんなになる前に。

それに、汗で折角のお化粧がまだらに・・・。

それならお化粧しなければいいのに・・・。よけい暑そう・・・。やだやだ。

~~~~~

私 ↓

あの・・・。言わせて貰いますが・・・。

私だってあなた位の、鼻も・違った「花も恥らう」乙女の頃があったのよん！

その頃はお化粧もいらないうるつるぴかぴかの「温泉饅頭の薄皮」みたいな肌をしていましたともさ。

今は「食パン」の皮に無理やりファンデーションを塗りこんだみたいなお化粧をしているけど、これはこれで必要不可欠なのよね。

塗らない素肌は「シミ」だらけ・・・。塗ってもたいした効果も期待出来ないという話もあるけど、ま、この際、気分だけでも・・・。

太っちょの事でも言わせてくださりませ。

ナニを隠そう、私も30歳位まではイッチョマエに心の中で言っていました！

「ああなる前に対策があるだろうに……。食べなきゃいいの！食べなきゃ！」

違うんです……。食べなくてもああなるんです！ 年を取ると！

私なんて、朝食は食パン半枚ですよお！それにヨーグルトとバナナとコーヒート。

そう、コーヒーには「シュガーカット」。

でも！右肩上がりの体重……。バナナとヨーグルトを削れって？でもこれはナニの為には不可欠なんだけどなあ……。

~~~~~

彼女 ↓

まあ、白と黒の「よこしま」のジャケットを。

人が良さそうだから心はよこしまではないでしょうけど、何もわざわざ太って見える「ヨコシマ」を着なくても……。

~~~~~

私 ↓

ヨコシマが太って見える位は私も分かるのよ。

でも、でも、これしか着れる服が無いのよん！

スカート丈が長くなった流行のお陰で、今までのスカートが履けないの。

それに伴い、上の洋服のも制限が出来て、これしか合うのがないのよ。

良く見てえ！これは「麻混」なのよ「麻混」！

端布で作った今が着どきのジャケットなの。正直、前が合うのがこれしかないの。

ダブルに作ってあればボタンをずらしして暫くは着れるんだけどなあ……。

これも今に着れなくなりそう……。

ま、ヨコシマの件は見て見ぬふりしてね。

~~~~~

彼女 ↓

わっ、もう少し履物にも神経を使って欲しいわ！

なに？この「入ればいいでしょ？入れば……」という感じのドタ靴。

~~~~~

私 ↓

いや～ん、見えた？

実はわたくし、サイズ 25 の「EEE」でも入らないことがあるのよん！

しかも、重度の「外反母趾」。

何処を探しても、この可哀相なMEME足が入る靴はないの。

やさしい主人は、靴屋とみれば入りそうな靴を探してくれるのだけど、私は「いいの・いいの、又にするわ！」とお店から脱出したくなる惨めさ・・・。

だから、ぽたぽたと音がしそうな「野暮い」靴を無理やり買う羽目に。

仕方ないから、せめて洋服と共布でちょっとした飾りを作って甲に付けたりして、何とかカッコつけているんだけど・・・。

わたしにも、とりあえず「オシャレ心」はあるのよね。

でも、諸事情でこんなテイタラク・・・。      ああ・・・。

~~~~~

やん！ミジメ！ や～めた！「逆ウォッチング」！

生地を買いに電車で出かける。

今日は秋晴れの素敵な日より。

大好きな、ぶらり一人ショッピングには打ってつけの気候。

思い立って電車にとびのる。

日暮里繊維問屋街は私の一番大好きなところ。

一日さまよっていても退屈しない。

で・・・。買った！買った！生地やレースを買い捲って帰途につく。

重い袋を3つも網棚に乗せてほっと一息つく頃には、汗びっしょり！

よんこらしよと我が家に着いて、ふと鏡を見てびっくり。

午後から思いつきで飛び出したので、お化粧品もそこそこで、しっかり点検しないで出かけたらしく、眉の片方が描いてなかった？

はたまた、汗で流れてしまったのか・・・。

片方の眉が半分しかな～い！

ありゃりゃん！

ま、終わってしまった事だし、しゃあない！しゃあない・・・。(--;)

人って、変な事があっても、見て見ぬフリですごしてしまいますよね。

たとえ頭に「ちょんちょこりん」が乗っていようが、背中に落書きがしてあろうが、チャックが開いていようが、ズボンが裂けていようが、かつらがずれていようが、ストッキングが伝染していようが・・・。

ある日、同級生が新宿で集まろうという事になり、何十年ぶりに会った時のこと。

それぞれ、卒業以来の歴史を身体や服装に滲ませながら「あらあ！」「まあ！」と再会を喜びあって・・・。

当時「お嬢様」で通っていたT嬢（？）も、その名にタガワズ相変わらずお上品なたたずまい。

白い上等な麻にカッティング刺繍が施された見事なスーツは、卒業後のお幸せさを象徴していた。

と・・・。

あれま・・・。

お出掛け時には、何十年振りの思いも重なって、丹念に入念にお化粧を整えていらした



であろう彼女の鼻の脇に・・・大きな「鼻○○」が・・・。  
ほんと、お気の毒だけど教えて差し上げられなかった・・・。

今も美しく華やかに活動していらっしゃる彼女のお噂を耳にするたび、どうしてもその瞬間の事が頭をヨギル。

私って、ツレナイ人かも・・・。

いや、人間ってそんなものですよね・・・。(…;)

教えて上げなくてごめん！（遅いって！）

あっという間にもう2月に突入！ううう　恐ろしい勢いで日月が流れる・・・。

今日はボランティア団体（というほどのものではないが）「あしながおばさん」の新年会兼打ち合わせで舞浜シェラトンへ・・・。

相も変わらず着ていく服に難航するが、な～に、冬はオーバーという隠蓑という強お～い見方がアルから大丈夫！

（とはいえ、ホテルの中でのオーバーはないよな・・・。やっぱり困る・・・）

はてさて、取敢えず身繕いをして駅へ。

一足前を歩いているご婦人二人、何やら楽しそうにおしゃべりしながら、いつの間にか同じ車両の客になっていた。

私の右二つ目に陣取るや、「そいでさぁ・・・」と先ほどの会話の続きが始まる。

隣一席空いているが、充分にお二人の声は耳に入ってくる。

今日は、耳からのウォッチングといこう・・・。(～\_～;)　ダンボ耳・・・。

「こないださぁ、孫が遊びきてさぁ、あなた、お泊りするって言い出したのよぉ。」

「うんうん」

「うちの主人ったらさぁ、ほいほい喜んじゃってさ、「いいよいいよ」だって。

そんで、息子達は孫を置いてじぶんちに帰っていったわけよ。

さぁ大変！一人になったとたん、孫があなた！帰りたいいい～！と叫びだしたのよぉ！

そうくると思ったわよ、わたしは！

だから私言ってやったわよ！亭主に。

いわんこっちゃないでしょが！あんたがほいほいするからよ！って。

第一、お嫁さんがあんまり良い顔をしていなかったのに気が付かないんだからぁ！

それからが大変よ。折角帰った息子夫婦に、また迎えに来て貰ってさぁ。

ぺちゃくちゃ　・・・あれこれ・・・」

ふと気付くと、ダイエットの話に変わっていた。

我ら中年女性の話題と言えば、「孫の話」「ダイエットの話」「ファッションの話」

飽きもせずには続く・・・。

と・・・。

ある駅で若いカップルが息せき切って飛び込んできた。

私の隣に男性が座り、はあはあまだ息を弾ませている。

その時点でもうおばちゃま達の会話は聞きとれない。

では、今度はカップルの話題を・・・。

女性「どうして遅刻したのさあ！待ったんだよお！」

男性「ご免ご免！寝坊しちゃってさあ」

「もう！帰ろうかと思ったんだから！」

「わりいわりい」

なんだからんだら・・・。

デズニーランドに行くところらしい。

座っている男性の襟首を掴んで振じ上げたり、拗ねたり・・・。

若いっていいなあ・・・。

でも、私にはそんな時代は全然無かった・・・。(\*\_\*)

ああ！勿体無かったなあ・・・。

一度でいいから異性の襟首を甘えながら拗ねながら振じ上げてみたかった・・・。

赤福！

---

出張から帰宅した息子のお土産・・・！

ひさしぶり～～～！

「[赤福](#)」だ～い好き！



今日は二個食べて、あとは明日のお楽しみ～・・・！

と思決心したのに、食卓の傍を通りかかるとつい足を止め、未練がましく蓋を開けて、端っこをちょびっとヘラですくって食べてしまう私。

あ～～～、たまんない！

-----

ところで、「[赤福](#)」というと、必ず思いだす風景がある。

もう、１０年も前の話だけれど、余りにも「おばか」な話だから、もう一度コピペして載せてみよう・・・。（\*´艸`）

-----

- 「[赤福](#)」といえは我が家の大好物で、その方面に出張や旅行をすれば、必ずお土産として買ってくるものと決まっていた。
- ———
- 思えば去年（２００８年）の８月のこと。

京都での甥の結婚式に出席の為、日帰りで出かけた家人と私。

（そう・・・その時のことです・・・↓、            思い出した方、噴出さないで下さいね）

<http://d.hatena.ne.jp/retoto/20070828>

お式でのハプニングの「靴びろろん」を乗り越えて、やっと人心地がついた帰途、一刻も早く帰りたい心境の二人がやったこと・・・！

上の８月２８日に引き続き、「第三弾！！」として書くつもりだったが、あまりのバカさ加減に書くのを躊躇していたら、        わ！    「[赤福](#)」の不正事件発覚！  
ますます恥ずかしくなって、書くに書けなくなってしまった・・・！    (+\_+)

- 急ぎ、東京へ向かう列車に乗り込もう・・・と京都駅に着くと、乗車を促すベル（？）が鳴っていた。

別のホームには「のぞみ」らしき列車を待つ人の行列がずら～～～っと長く伸びているのを尻目に、誘われるようにベルが鳴っている列車に乗り込んだ私達。

京都までの往路の電車時刻表はちゃん検索して計算通りにやって来たものの、帰りは何時になるか判らないので、出たところ勝負で帰ろうね・・・ということで、途中までは座っていけそうな先発の新幹線で・・・となった次第。

旅慣れない悲しさ、というか、バカちゃんというか、「のぞみ」ではないことは判っていたが、この新幹線もどこかで「のぞみ」と接続するだろうから、乗り換えればいいさ・・・ねっ！    と・・・。

途中乗り換えまでは 座れるもんねえ～～～！        と・・・。

それが、と～～んでもない事になるとは・・・。

- 京都を過ぎ、[米原](#)に止まり（ここは家人の叔母が住んでいた懐かしいところ）、[岐阜羽島](#)に止まり（弟嫁の出身地ダァ！！(^\_-)-☆）と、知っている駅名にうきうき。

さて、その次は「名古屋」！！

名古屋といえば「[赤福](#)」でしょうが！！　きゃっ！きゃっ！

!(^^)!　!(^^)!

絶対期待して待っているであろうお二階サン（息子一家）達の顔を思い浮かべて、決死の覚悟で家人がホームに飛び出す。[赤福](#)を買いに！

「もし間に合わないようだったら、別の車両に飛び乗ってね！」と、私も身を乗り出しての決死の掛け声！

しばしの後、発車間際に飛び込んできた我が家人の勇姿！！

手は[勝利](#)の「V」字！　戦果3個（我々用・二階の長男一家用・近くの次男一家用）が入ったビニール袋をシャカシャカさせて、にこにこ左右に揺れ、通路にぶつかり乍らも私の元に戻って来た！　!(^^)!

やった！　買えた！　ようこそご無事でお帰りなさいませ・・・。m(\_\_)m

-----

- そこまでは二人とも幸せだった・・・・・・・・・・・・・・・・。　(-\_-;)

さて、大事な事（名古屋で「のぞみ」に乗り換える事）を忘れていたのに気付いたのは、[三河安城](#)・[豊橋](#)・浜松・[掛川](#)と進み、静岡まで来た頃だった。

つまり、行けども行けども乗り換え駅が無いのだ・・・・・・・・・・・・・・・・。　(-\_-;)

よくよく考えたら、往路も「東京・品川・新横浜・名古屋・京都」だったのだから、新横浜までは乗り換え駅がないのだあああ・・・・・・・・・・・・・・・・。(-\_-;)

大事な乗り換え駅！「名古屋」より「[赤福](#)」獲得の為に奮闘していた私達！

- そこで、[新富士](#)・三島・熱海・小田原・・・と、延々と止まりながら走るこの列車に揺られ、だんだん口数が少なくなってくる二人・・・・・・・・・・・・・・・・。(-\_-;)

そして、新横浜にたどり着いた頃には「もう、ここまで来たのだから東京まで乗って行

こうよ」と、結局、隠居様のように悟り済ました心境になってしまったふたり。

- . . . . . で、結局、何時間の「損」をしたのかも計算したくないほど疲れ切った顔で東京駅に降り立ったのであった！！！！！！
- そんな 「[赤福](#)」！ (---♂)





車中の向かいに座る男性を見ていて気が付いた。

髪の毛が人生経験の「順番」！

- ★ 左から→ 大御所（ほぼ全滅）
- ★ 次 → まだ少し余力あり
- ★ その次 → つんつん立ち上がる元気な髪
- ★ 右 → つやつやのロングヤング。

見事に順番に並んでいた・・・。

## ちょうちんブルマー

---

PCファイルの画像の整理をしていたら、日暮里駅のホームを颯爽と歩くこんな女性の絵が出てきた。



そうそう・・・、大昔、私も履いた事がある【ちょうちんブルマー】の現代版なのかしら・・・とちょっと懐かしい。



ふふ、思い返せば懐かしくも可愛い少女時代もあったのね・・・。  
古び果てた私たちにも・・・。

流行は繰り返す・・・と言うが、こんなものまで半世紀後に出現するとはちょっとびっくり。

ホームの彼女、流行の先端に行くような気分で足取りも軽く去って行った。

久しぶりにベイホテルでの昼食会がある日。

シャンプー・・・よし！ お化粧・・・よし！ ちょっと華やかな服・・・よし！

いつになく朝から華やいだ気分で昂揚して準備万端怠り無く・・・。

出不精な私、「座敷ぶ〇」状態の日常だけど、それが私の一番好きな生き方。

でも、こういう会もやっぱり出なくてはいけない時もある。(\*\_\*)

舞浜に向かう電車は少しだけ混んでいて、ディズニーランドに行く人達が、楽しげにさざめきあっている。

若いって良いな～。

顔も、太ももも、ぷちぷちしている。

高校生かな？。薄化粧にピアス。

今時の高校生って、お化粧もしているんだ・・・。

座っている私の前でおしゃべりに花が咲いて本当に楽しそう。

あ、私の両端の席が空いた・・・。

友達同士が二人で一緒に座れるように、私は席をひとつ移って空けてあげる。

「うふ、なんて気が利くんでしょう！私って！」('◇')ゞ

「どうぞ！」

にこやかに、おごそかに、親切心を湛えた目線で言う私。

と・・・。

「ありがとう、おばあちゃん！」

「うぬ！？・・・」。

まだまだ若い（若く見える・・・）」とうぬぼれていた私。（\*´  
艸`）

それにしても・・・。それにしても・・・。

「おば・・・おば・・・おばあちゃん！？～～～」

うらめしげな視線でその方を見やると、私など既に眼中にない  
彼女、早速楽しそうに

「そいでさあ～」 「きゃ！そのバッグいくらだったあ～？？」 と  
隣の席でさっきの話の続き・・・。

めげているのを周囲に悟られないように、「うほん！」と咳払い  
をして襟元を直したりして気持ちを整える私。

孫が「おばあちゃん～」と話しかけると、「な～にい～」などと  
にやけているのに、こういう場合、「他人のあんたのおばあちゃん  
じゃない！」と鼻息荒く考える事でもないのは当然・・・。

でも・・・でも・・・でも・・・。 "(-""-)"

前に70歳の知人がこぼしていたセリフを思い出した。

「電車で、おばあさん！て呼びかけられて席を譲られた  
のよお～！」

悔しそうに言っていたのは、もう、何年前か。

その時は「だって～。じゃ～、何て言えばいいの？ 70過ぎの背中が大きく曲がった白髪の小柄な彼女は、やっぱりおばあさんじゃない？・・・」などと、つれない心の中。

年を重ねないと分からない事ってほんとに多い。

でも私、その方と同じ70歳になるまでは、まだ8年もあるんだも～ん！

62歳の私に、それを言うう～～！？？？

しかも、精一杯若々しくオメカシしてきたつもりの私に それを言うう～！？

その私に「お・おばあちゃん～～？！！！！（\*\_\*；

あ～あ、席を変えてあげるんじゃないなかった・・・！

・・・それから16年の日にちが過ぎた今、家人から「おばあちゃん～！」と呼びかけられて何の躊躇もなく「は～い」と返事をしている私。

でも、他人から「おばあちゃん」と言われたら、まだきっと「なぬ！」と思ってしまうのだろうか・・・？

ただいま、78歳！！（\*\_\*；

## MEMEの【車中ウォッチング】

<http://p.booklog.jp/book/114647>

著者：MEME

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/retotoruri/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/114647>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト